

【公開版】

日本原燃株式会社	
資料番号	濃縮個別 03-4 R2
提出年月日	令和 3 年 6 月 29 日

## 仕様表に係る補足説明資料

本資料は、【濃縮個別 03-4 R1】の改訂版（R2）である。改訂内容は以下のとおり。

- 別紙 1 の仕様表記載例について、インターロックの仕様表を追加するとともに、各仕様表の記載項目についてこれまでの説明結果を踏まえ記載を適正化した。
- 「濃縮個別 28 今後の修正の方針について」にて説明したインターロックに係る仕様表の示し方、関連性の整理結果について記載を適正化の上、別紙 2 として追加した。

※【濃縮個別 03-4 R1】から変更した部分を青字にて示す。

## 目 次

1. 概要 ..... 1
2. 仕様表の記載内容の整理 ..... 1

別紙 1 機種別の仕様表の記載方針

別紙 2 インターロックに係る仕様表の示し方、関連性の整理

## 1. 概要

本資料は、全社の共通 06 の仕様表の記載方針及びこれまでの濃縮個別ヒアリングにおける技術基準への適合説明の結果等を踏まえ、仕様表の記載内容を整理したものである。

## 2. 仕様表の記載内容の整理

今回の第 4 回申請及び 2A 後半分遠心機更新に係る仕様表の記載内容について、共通 06 で機種別に整理した基本的な記載パターンを基に、濃縮の既認可の記載事項、事業変更許可申請書及び技術基準規則（様式-6, 7）の要求事項及び発電炉の要目表の記載事項を考慮して、記載すべき事項を整理した。

今回の第 4 回申請及び 2A 後半分遠心機更新に係る機種別の仕様表の記載方針を別紙 1 に示す。

また、インターロックに係る仕様表の示し方、関連性を整理した結果を別紙 2 に示す。

## 別紙 1

### 機種別の仕様表の記載方針

### 機種別の仕様表の記載の考え方（概念図）

#### 共通06 添付-6 仕様表展開表

仕様表展開表 添付-6 (1/5)

機種種別	機種名称 (注1)	機種名称の日本語訳	型式	仕様の適用範囲 (注2)	備考	備考欄	備考欄	仕様表展開表																																											
								仕様表展開表											仕様表展開表											仕様表展開表											仕様表展開表										
1	設備 （燃料供給装置）	燃料供給装置	燃料供給装置	燃料供給装置				仕様表展開表																																											
2	設備 （燃焼器）	燃焼器	燃焼器	燃焼器				仕様表展開表																																											
3	設備 （煙突）	煙突	煙突	煙突				仕様表展開表																																											
4	圧縮機	圧縮機	圧縮機	圧縮機				仕様表展開表																																											
5	圧縮機	圧縮機	圧縮機	圧縮機				仕様表展開表																																											
6	圧縮機	圧縮機	圧縮機	圧縮機				仕様表展開表																																											
7	圧縮機	圧縮機	圧縮機	圧縮機				仕様表展開表																																											

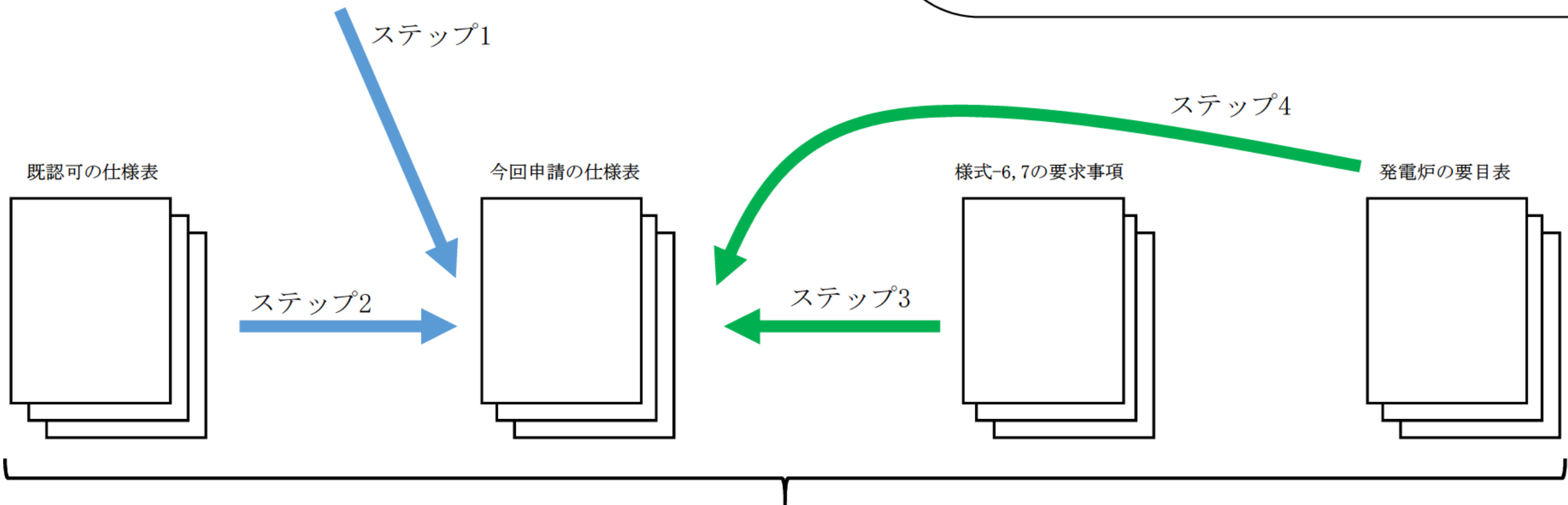
**【考え方】**

ステップ1：共通06（R1）の仕様表展開表（基本フォーマット）（2021/5/11提出版）を基に、濃縮の機種ごとの仕様表項目を選定する。（基本的な仕様表項目は共通06と同様とするが、濃縮施設の特徴を踏まえ、一部適用されないもの（化学薬品に対する防護、容器の伝熱面積等）を除く。）  
 全社と濃縮の仕様表展開表の比較を添付2に示す。  
 また、原則、機種ごとの仕様表展開表（基本フォーマット）に基づき、仕様表項目を記載するが、個別機器において該当しない（「-」となる）場合には、注記にて「-」とした理由を付す。（仕様表展開表で容器の臨界管理を対象としているが、ウランを取り扱わない機器などは「-」とし、その理由を注記で付す。）

ステップ2：ステップ1の仕様表記載項目に加え、既認可仕様表を確認し、他に追加しなければならない項目を抽出する。

ステップ3：新規規制基準を受けて追加になった設計により仕様表に追加すべき項目がないか、要求事項を満足するために必要な仕様が抜けなく反映されているかを確認するために様式-6,7の要求事項を確認し、追加が必要な項目を抽出する。

ステップ4：発電炉の要目表と比較し、当該機種種の性能、機能を示すうえで必要な項目が抜けなく選定されていることを確認する。



添付1 機種別の仕様表記載例に示す

仕様表記載例（機種：容器（2号圧力調整槽））

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																																																																																			
<p>【認可番号：平成6年12月15日付け 6安（核規）第665号】</p> <p>表-13 UFe 処理設備の仕様（2号圧力調整槽）</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>2号圧力調整槽</td> <td>区分</td> <td>UFe 処理設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>1基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>2号発回均質室</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td>第2類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料・構造（温度、圧力）</td> <td>温度：常温 圧力：大気圧以下</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td>円筒横型</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>内径：■■■■mm以下 全長：■■■■mm 肉厚：■■■■mm以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>ステンレス鋼■■■■</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td>気体UFe</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>該当しないため、記載を削除。</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>添付図 図-13、図-24</p> <p>別ハ(ロ)-15</p> <p>主要設備リストで展開。</p> <p>該当しないため、記載を削除。</p> <p>該当しないため、記載を削除。</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p>	設備機器名称	2号圧力調整槽	区分	UFe 処理設備	台数	1基			設置場所	2号発回均質室			臨界管理	—			放射線防護	—			耐震	第2類			材料・構造（温度、圧力）	温度：常温 圧力：大気圧以下			型式	円筒横型			主要寸法	内径：■■■■mm以下 全長：■■■■mm 肉厚：■■■■mm以上			主要材料	ステンレス鋼■■■■			性能	—			核燃料物質の状態	気体UFe			その他	該当しないため、記載を削除。			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称<sup>*1</sup></td> <td>—</td> <td>2号圧力調整槽</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類<sup>*2</sup></td> <td>—</td> <td>円筒横型</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量<sup>*3</sup></td> <td>—</td> <td>—<sup>*8</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力<sup>*4</sup></td> <td>hPa</td> <td>上限：960 下限：0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度<sup>*4</sup></td> <td>℃</td> <td>40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>流体等の種類<sup>*5</sup></td> <td>—</td> <td>気体UFe</td> <td></td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>—</td> <td>—<sup>*9</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>胴内径</td> <td>■■■■</td> <td></td> </tr> <tr> <td>全長</td> <td>■■■■</td> <td></td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>■■■■</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鏡板の形状に係る寸法</td> <td>■■■■</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>■■■■</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>胴本体</td> <td>■■■■</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鏡板</td> <td>■■■■</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数<sup>*6</sup></td> <td>基</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名（ライン名）</td> <td>発生・供給系<sup>*11</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床（室名称）<sup>*7</sup></td> <td>2号発回均質室</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認には「性能」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認には「材料・構造（温度、圧力）」と記載。 *5：記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。 *6：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *7：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *8：過充填等のおそれのない気体UFeのみを取り扱う機器であり、容量に対する要求事項がないため「—」とする。 *9：濃縮度0.95%未満のウランを取り扱う機器であり、臨界管理の対象外であるため「—」とする。 *10：公称値を示す。 *11：既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>			変更前	変更後	名称 <sup>*1</sup>	—	2号圧力調整槽		種類 <sup>*2</sup>	—	円筒横型		容量 <sup>*3</sup>	—	— <sup>*8</sup>		最高使用圧力 <sup>*4</sup>	hPa	上限：960 下限：0		最高使用温度 <sup>*4</sup>	℃	40		流体等の種類 <sup>*5</sup>	—	気体UFe		臨界管理	—	— <sup>*9</sup>		主要寸法	胴内径	■■■■		全長	■■■■		胴板厚さ	■■■■		鏡板の形状に係る寸法	■■■■		鏡板厚さ	■■■■		主要材料	胴本体	■■■■		鏡板	■■■■		個数 <sup>*6</sup>	基	1		取付箇所	系統名（ライン名）	発生・供給系 <sup>*11</sup>		設置床（室名称） <sup>*7</sup>	2号発回均質室		<p>【様式-6,7等の整理により機能要求②としたもの】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6,7</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td> <p>【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>静的設計法</li> <li>波及的影響の考慮</li> <li>上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計</li> <li>剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計</li> <li>耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施</li> </ul> </td> <td>耐震重要度分類：第〇類 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十条 閉じ込めの機能</td> <td> <p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>耐食性を有する材料の使用</li> </ul> </td> <td>主要材料：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td> <p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不燃性又は難燃性材料の使用</li> </ul> </td> <td>主要材料：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十五条 材料及び構造</td> <td> <p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用</li> <li>全体的な変形を弾性域に抑える設計</li> <li>座屈が生じない設計</li> </ul> </td> <td>主要材料：〇〇 最高使用圧力：〇〇hPa 最高使用温度：〇〇℃ 胴内径：〇〇mm 胴板厚さ：〇〇mm 鏡板の形状に係る寸法：〇〇mm 鏡板厚さ：〇〇mm 主要材料：〇〇</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	<p>【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>静的設計法</li> <li>波及的影響の考慮</li> <li>上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計</li> <li>剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計</li> <li>耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施</li> </ul>	耐震重要度分類：第〇類 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇	第十条 閉じ込めの機能	<p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>耐食性を有する材料の使用</li> </ul>	主要材料：〇〇	第十一条 火災等による損傷の防止	<p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不燃性又は難燃性材料の使用</li> </ul>	主要材料：〇〇	第十五条 材料及び構造	<p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用</li> <li>全体的な変形を弾性域に抑える設計</li> <li>座屈が生じない設計</li> </ul>	主要材料：〇〇 最高使用圧力：〇〇hPa 最高使用温度：〇〇℃ 胴内径：〇〇mm 胴板厚さ：〇〇mm 鏡板の形状に係る寸法：〇〇mm 鏡板厚さ：〇〇mm 主要材料：〇〇	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前<sup>*1</sup></th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名</td> <td>称</td> <td>サージタンク</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td>たて置円筒形</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容</td> <td>量</td> <td>■■■■<sup>m<sup>3</sup>/個</sup></td> <td>4.5<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>最</td> <td>高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td>静水頭</td> </tr> <tr> <td>最</td> <td>高使用温度</td> <td>℃</td> <td>65.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">主</td> <td>胴内径</td> <td>mm</td> <td>1500<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ</td> <td>mm</td> <td>9.0<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>鏡板厚さ</td> <td>mm</td> <td>9.0<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>鏡板の形状に係る寸法</td> <td>mm</td> <td>1500<sup>*2</sup> (鏡板中央部内半径)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>mm</td> <td>150<sup>*2</sup> (鏡板隅の丸み半径)</td> </tr> <tr> <td>平板厚さ</td> <td>mm</td> <td>9.0<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>出口管台外径</td> <td>mm</td> <td>165.2<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">寸</td> <td>出口管台厚さ</td> <td>mm</td> <td>7.1<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>マンホール管台外径</td> <td>mm</td> <td>457.2<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>マンホール管台厚さ</td> <td>mm</td> <td>12.0<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>マンホール平板厚さ</td> <td>mm</td> <td>30.0<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>さ</td> <td>mm</td> <td>2820<sup>*2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">材</td> <td>胴板</td> <td>—</td> <td>SM41A</td> </tr> <tr> <td>鏡板</td> <td>—</td> <td>SM41A</td> </tr> <tr> <td>マンホール平板</td> <td>—</td> <td>SM41A</td> </tr> <tr> <td>個</td> <td>数</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取</td> <td>系</td> <td>統名</td> <td>原子炉補機冷却系サージタンク</td> </tr> <tr> <td>(</td> <td>ライン名)</td> <td>原子炉補機冷却系</td> </tr> <tr> <td>設</td> <td>置床</td> <td>■■■■ EL.46.50 m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">箇</td> <td>溢</td> <td>水防護上の区画番号</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>配</td> <td>置が必要な高さ</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *2：公称値を示す。</p>			変更前 <sup>*1</sup>	変更後	名	称	サージタンク		種	類	たて置円筒形		容	量	■■■■ <sup>m<sup>3</sup>/個</sup>	4.5 <sup>*2</sup>	最	高使用圧力	MPa	静水頭	最	高使用温度	℃	65.6	主	胴内径	mm	1500 <sup>*2</sup>	胴板厚さ	mm	9.0 <sup>*2</sup>	鏡板厚さ	mm	9.0 <sup>*2</sup>	鏡板の形状に係る寸法	mm	1500 <sup>*2</sup> (鏡板中央部内半径)		mm	150 <sup>*2</sup> (鏡板隅の丸み半径)	平板厚さ	mm	9.0 <sup>*2</sup>	出口管台外径	mm	165.2 <sup>*2</sup>	寸	出口管台厚さ	mm	7.1 <sup>*2</sup>	マンホール管台外径	mm	457.2 <sup>*2</sup>	マンホール管台厚さ	mm	12.0 <sup>*2</sup>	マンホール平板厚さ	mm	30.0 <sup>*2</sup>	高	さ	mm	2820 <sup>*2</sup>	材	胴板	—	SM41A	鏡板	—	SM41A	マンホール平板	—	SM41A	個	数	—	1	取	系	統名	原子炉補機冷却系サージタンク	(	ライン名)	原子炉補機冷却系	設	置床	■■■■ EL.46.50 m	箇	溢	水防護上の区画番号	—	配	置が必要な高さ	—	<p>強度等の評価を伴う管台等について、仕様表に記載する。</p> <p>変更なし</p> <p>溢水評価の対象外の機器であるため、溢水に係る項目（系統名、区画等）は記載していない。</p>
設備機器名称	2号圧力調整槽	区分	UFe 処理設備																																																																																																																																																																																																																																				
台数	1基																																																																																																																																																																																																																																						
設置場所	2号発回均質室																																																																																																																																																																																																																																						
臨界管理	—																																																																																																																																																																																																																																						
放射線防護	—																																																																																																																																																																																																																																						
耐震	第2類																																																																																																																																																																																																																																						
材料・構造（温度、圧力）	温度：常温 圧力：大気圧以下																																																																																																																																																																																																																																						
型式	円筒横型																																																																																																																																																																																																																																						
主要寸法	内径：■■■■mm以下 全長：■■■■mm 肉厚：■■■■mm以上																																																																																																																																																																																																																																						
主要材料	ステンレス鋼■■■■																																																																																																																																																																																																																																						
性能	—																																																																																																																																																																																																																																						
核燃料物質の状態	気体UFe																																																																																																																																																																																																																																						
その他	該当しないため、記載を削除。																																																																																																																																																																																																																																						
		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																																				
名称 <sup>*1</sup>	—	2号圧力調整槽																																																																																																																																																																																																																																					
種類 <sup>*2</sup>	—	円筒横型																																																																																																																																																																																																																																					
容量 <sup>*3</sup>	—	— <sup>*8</sup>																																																																																																																																																																																																																																					
最高使用圧力 <sup>*4</sup>	hPa	上限：960 下限：0																																																																																																																																																																																																																																					
最高使用温度 <sup>*4</sup>	℃	40																																																																																																																																																																																																																																					
流体等の種類 <sup>*5</sup>	—	気体UFe																																																																																																																																																																																																																																					
臨界管理	—	— <sup>*9</sup>																																																																																																																																																																																																																																					
主要寸法	胴内径	■■■■																																																																																																																																																																																																																																					
	全長	■■■■																																																																																																																																																																																																																																					
	胴板厚さ	■■■■																																																																																																																																																																																																																																					
	鏡板の形状に係る寸法	■■■■																																																																																																																																																																																																																																					
	鏡板厚さ	■■■■																																																																																																																																																																																																																																					
主要材料	胴本体	■■■■																																																																																																																																																																																																																																					
	鏡板	■■■■																																																																																																																																																																																																																																					
個数 <sup>*6</sup>	基	1																																																																																																																																																																																																																																					
取付箇所	系統名（ライン名）	発生・供給系 <sup>*11</sup>																																																																																																																																																																																																																																					
	設置床（室名称） <sup>*7</sup>	2号発回均質室																																																																																																																																																																																																																																					
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																																																																																					
第六条 地震による損傷の防止	<p>【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>静的設計法</li> <li>波及的影響の考慮</li> <li>上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計</li> <li>剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計</li> <li>耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施</li> </ul>	耐震重要度分類：第〇類 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇																																																																																																																																																																																																																																					
第十条 閉じ込めの機能	<p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>耐食性を有する材料の使用</li> </ul>	主要材料：〇〇																																																																																																																																																																																																																																					
第十一条 火災等による損傷の防止	<p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不燃性又は難燃性材料の使用</li> </ul>	主要材料：〇〇																																																																																																																																																																																																																																					
第十五条 材料及び構造	<p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用</li> <li>全体的な変形を弾性域に抑える設計</li> <li>座屈が生じない設計</li> </ul>	主要材料：〇〇 最高使用圧力：〇〇hPa 最高使用温度：〇〇℃ 胴内径：〇〇mm 胴板厚さ：〇〇mm 鏡板の形状に係る寸法：〇〇mm 鏡板厚さ：〇〇mm 主要材料：〇〇																																																																																																																																																																																																																																					
		変更前 <sup>*1</sup>	変更後																																																																																																																																																																																																																																				
名	称	サージタンク																																																																																																																																																																																																																																					
種	類	たて置円筒形																																																																																																																																																																																																																																					
容	量	■■■■ <sup>m<sup>3</sup>/個</sup>	4.5 <sup>*2</sup>																																																																																																																																																																																																																																				
最	高使用圧力	MPa	静水頭																																																																																																																																																																																																																																				
最	高使用温度	℃	65.6																																																																																																																																																																																																																																				
主	胴内径	mm	1500 <sup>*2</sup>																																																																																																																																																																																																																																				
	胴板厚さ	mm	9.0 <sup>*2</sup>																																																																																																																																																																																																																																				
	鏡板厚さ	mm	9.0 <sup>*2</sup>																																																																																																																																																																																																																																				
	鏡板の形状に係る寸法	mm	1500 <sup>*2</sup> (鏡板中央部内半径)																																																																																																																																																																																																																																				
		mm	150 <sup>*2</sup> (鏡板隅の丸み半径)																																																																																																																																																																																																																																				
	平板厚さ	mm	9.0 <sup>*2</sup>																																																																																																																																																																																																																																				
	出口管台外径	mm	165.2 <sup>*2</sup>																																																																																																																																																																																																																																				
寸	出口管台厚さ	mm	7.1 <sup>*2</sup>																																																																																																																																																																																																																																				
	マンホール管台外径	mm	457.2 <sup>*2</sup>																																																																																																																																																																																																																																				
	マンホール管台厚さ	mm	12.0 <sup>*2</sup>																																																																																																																																																																																																																																				
	マンホール平板厚さ	mm	30.0 <sup>*2</sup>																																																																																																																																																																																																																																				
高	さ	mm	2820 <sup>*2</sup>																																																																																																																																																																																																																																				
材	胴板	—	SM41A																																																																																																																																																																																																																																				
	鏡板	—	SM41A																																																																																																																																																																																																																																				
	マンホール平板	—	SM41A																																																																																																																																																																																																																																				
個	数	—	1																																																																																																																																																																																																																																				
取	系	統名	原子炉補機冷却系サージタンク																																																																																																																																																																																																																																				
	(	ライン名)	原子炉補機冷却系																																																																																																																																																																																																																																				
	設	置床	■■■■ EL.46.50 m																																																																																																																																																																																																																																				
箇	溢	水防護上の区画番号	—																																																																																																																																																																																																																																				
	配	置が必要な高さ	—																																																																																																																																																																																																																																				

【凡例】

- ：今回の仕様表と既認可仕様表及び要求事項（様式-6,7等）が整合している項目
- ：既認可仕様表のうち、今回の仕様表に反映しない項目（反映しない理由を吹き出しにて記載）
- ：新規制基準に係る新たな要求事項（様式-6,7等）として仕様表に追加した項目
- ：発電炉の要目表のうち、今回の仕様表に反映しない項目（反映しない理由を備考に記載）

仕様表記載例 (機種: ポンプ (2号捕集排気系ロータリポンプ))

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																																															
<p>【認可番号: 平成6年12月15日付け 6安 (核規) 第665号】</p> <p>主要設備リストで展開。 該当しないため、記載を削除。</p> <table border="1"> <tr><td>設備機器名称</td><td>2号捕集排気系ロータリポンプ</td><td>区分</td><td>UF<sub>6</sub>処理設備</td></tr> <tr><td>台数</td><td>2基</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>設置場所</td><td>2号発回均質室</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>臨界管理</td><td>—</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>放射線防護</td><td>—</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>耐震</td><td>第3類</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>材料・構造 (温度、圧力)</td><td>温度: 常温 圧力: 大気圧以下</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>型式</td><td>油回転式</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>主要寸法</td><td>幅: ■■■mm 奥行: ■■■mm 高さ: ■■■mm</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>主要材料</td><td>鋳鉄■■■</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>性能</td><td>排気速度: ■■■m<sup>3</sup>/h/基</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>核燃料物質の状態</td><td>—</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td>外部電源喪失により、ロータリポンプが停止した場合は、ロータリポンプの入口弁を自動的に閉とし、UF<sub>6</sub>を工程内に閉じ込める。 本インターロックを図-80に示す。</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>添付図</td><td>四-7、四-24</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>別ハ(ロ)-9</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p>	設備機器名称	2号捕集排気系ロータリポンプ	区分	UF <sub>6</sub> 処理設備	台数	2基			設置場所	2号発回均質室			臨界管理	—			放射線防護	—			耐震	第3類			材料・構造 (温度、圧力)	温度: 常温 圧力: 大気圧以下			型式	油回転式			主要寸法	幅: ■■■mm 奥行: ■■■mm 高さ: ■■■mm			主要材料	鋳鉄■■■			性能	排気速度: ■■■m <sup>3</sup> /h/基			核燃料物質の状態	—			その他	外部電源喪失により、ロータリポンプが停止した場合は、ロータリポンプの入口弁を自動的に閉とし、UF <sub>6</sub> を工程内に閉じ込める。 本インターロックを図-80に示す。			添付図	四-7、四-24			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>名称*</td><td>—</td><td>2号捕集排気系ロータリポンプ*</td></tr> <tr><td>種類*</td><td>—</td><td>油回転式</td></tr> <tr><td>容量*</td><td>m<sup>3</sup>/h/基</td><td>■■■</td></tr> <tr><td>揚程又は吐出圧力</td><td>—</td><td>—*</td></tr> <tr><td>最高使用圧力*</td><td>hPa</td><td>上限: 960 下限: 0</td></tr> <tr><td>最高使用温度*</td><td>℃</td><td>40</td></tr> <tr><td>流体等の種類*</td><td>—</td><td>排ガス*10</td></tr> <tr><td>臨界管理</td><td>—</td><td>—*11</td></tr> <tr><td>主要寸法</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>たて</td><td>mm</td><td>■■■</td></tr> <tr><td>横</td><td>mm</td><td>■■■</td></tr> <tr><td>高さ</td><td>mm</td><td>■■■</td></tr> <tr><td>主要材料</td><td>—</td><td>鋳鉄*12</td></tr> <tr><td>個数*</td><td>基</td><td>2</td></tr> <tr><td>取付箇所</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>系統名 (ライン名)</td><td>—</td><td>捕集排気系*10</td></tr> <tr><td>設置床 (室名称)*7</td><td>—</td><td>2号発回均質室</td></tr> <tr><td>種類</td><td>—</td><td>誘導電動機*10</td></tr> <tr><td>出力</td><td>kW/基</td><td>3.7*10</td></tr> <tr><td>個数</td><td>基</td><td>2*10</td></tr> <tr><td>取付箇所</td><td>—</td><td>2号発回均質室*10</td></tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2: 記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認には「性能」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認には「材料・構造 (温度、圧力)」と記載。 *5: 記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。 *6: 記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *7: 記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *8: 本機器は、ロータリポンプ停止に伴う入口弁閉のインターロックの機能を有する設計とする。 *9: 真空ポンプであり、揚程、吐出圧力は設計条件とならないため「—」とする。 *10: 既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *11: 本機器は、UF<sub>6</sub>を取り扱う機器ではなく、臨界管理の対象外であるため「—」とする。 *12: UF<sub>6</sub>を内包する機器ではなく、UF<sub>6</sub>を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。</p>		変更前	変更後	名称*	—	2号捕集排気系ロータリポンプ*	種類*	—	油回転式	容量*	m <sup>3</sup> /h/基	■■■	揚程又は吐出圧力	—	—*	最高使用圧力*	hPa	上限: 960 下限: 0	最高使用温度*	℃	40	流体等の種類*	—	排ガス*10	臨界管理	—	—*11	主要寸法			たて	mm	■■■	横	mm	■■■	高さ	mm	■■■	主要材料	—	鋳鉄*12	個数*	基	2	取付箇所			系統名 (ライン名)	—	捕集排気系*10	設置床 (室名称)*7	—	2号発回均質室	種類	—	誘導電動機*10	出力	kW/基	3.7*10	個数	基	2*10	取付箇所	—	2号発回均質室*10	<p>【様式-6,7等の整理により機能要求②としたもの】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>【手段: 設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施</td> <td>耐震重要度分類: 第〇類 主要寸法: 〇〇mm 主要材料: 〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十条 閉じ込め機能</td> <td>【手段: 設備】 ・UF<sub>6</sub>を工程内に閉じ込めるインターロックを設ける</td> <td>— (検出器無し)</td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td>【手段: 設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用</td> <td>主要材料: 〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十八条 警報設備等</td> <td>【手段: 設備】 ・UF<sub>6</sub>を工程内に閉じ込めるインターロックを設ける</td> <td>— (検出器無し)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【補足説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様式-6,7の機能要求に基づき、強度評価等を伴う設備の材料は、規格番号を記載し、検査において評価どおりの材料が使用されていることを材料証明書等により確認する。</li> <li>・強度評価等を伴わない設備の材料は、火災発生防止の観点から材料名 (規格番号無し) を記載し、検査において不燃性又は難燃性材料であることをメーカー記録等により確認する。</li> </ul>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	【手段: 設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類: 第〇類 主要寸法: 〇〇mm 主要材料: 〇〇	第十条 閉じ込め機能	【手段: 設備】 ・UF <sub>6</sub> を工程内に閉じ込めるインターロックを設ける	— (検出器無し)	第十一条 火災等による損傷の防止	【手段: 設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料: 〇〇	第十八条 警報設備等	【手段: 設備】 ・UF <sub>6</sub> を工程内に閉じ込めるインターロックを設ける	— (検出器無し)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>種類</td><td>—</td><td>うず巻形*2</td></tr> <tr><td>容量</td><td>m<sup>3</sup>/h/個</td><td>124.9以上*3 (124.9*4)</td></tr> <tr><td>揚程*</td><td>m</td><td>91.4以上*3 (91.4*4)</td></tr> <tr><td>最高使用圧力</td><td>MPa</td><td>1.37*3</td></tr> <tr><td>最高使用温度</td><td>℃</td><td>65.6*3</td></tr> <tr><td>吸込内径</td><td>mm</td><td>150*4, *6</td></tr> <tr><td>吐出内径</td><td>mm</td><td>80*4, *6</td></tr> <tr><td>ケーシング厚さ</td><td>mm</td><td>14.0*3, *4</td></tr> <tr><td>たて</td><td>mm</td><td>185*4, *6</td></tr> <tr><td>横</td><td>mm</td><td>968*3, *4</td></tr> <tr><td>高さ</td><td>mm</td><td>704*4, *6</td></tr> <tr><td>ケーシング*</td><td>—</td><td>SC46</td></tr> <tr><td>個数</td><td>—</td><td>2</td></tr> <tr><td>系統名 (ライン名)</td><td>—</td><td>燃料プール冷却浄化系ポンプ 燃料プール冷却浄化系*3</td></tr> <tr><td>設置床</td><td>—</td><td>EL. 29.00 m*3</td></tr> <tr><td>溢水防護上の区画番号</td><td>—</td><td>RB-4-19</td></tr> <tr><td>溢水防護上の配慮が必要高さ</td><td>—</td><td>EL. 29.20 m以上</td></tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ポンプ」と記載。 *2: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「横軸単段うず巻型」と記載。 *3: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *4: 公称値を示す。 *5: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全揚程」と記載。 *6: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和51年8月30日付け建発第98号にて届け出した工事計画書の添付図面「第6-5図 燃料プール冷却浄化系ポンプ外形図」による。 *7: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴」と記載。 *8: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「三相誘導電動機」と記載。</p>	名称	変更前	変更後	種類	—	うず巻形*2	容量	m <sup>3</sup> /h/個	124.9以上*3 (124.9*4)	揚程*	m	91.4以上*3 (91.4*4)	最高使用圧力	MPa	1.37*3	最高使用温度	℃	65.6*3	吸込内径	mm	150*4, *6	吐出内径	mm	80*4, *6	ケーシング厚さ	mm	14.0*3, *4	たて	mm	185*4, *6	横	mm	968*3, *4	高さ	mm	704*4, *6	ケーシング*	—	SC46	個数	—	2	系統名 (ライン名)	—	燃料プール冷却浄化系ポンプ 燃料プール冷却浄化系*3	設置床	—	EL. 29.00 m*3	溢水防護上の区画番号	—	RB-4-19	溢水防護上の配慮が必要高さ	—	EL. 29.20 m以上	<p>耐圧強度評価の対象外の機器であるため、厚さ等は記載していない。</p> <p>溢水評価の対象外の機器であるため、溢水に係る項目 (系統名、区画等) は記載していない。</p>
設備機器名称	2号捕集排気系ロータリポンプ	区分	UF <sub>6</sub> 処理設備																																																																																																																																																																																																
台数	2基																																																																																																																																																																																																		
設置場所	2号発回均質室																																																																																																																																																																																																		
臨界管理	—																																																																																																																																																																																																		
放射線防護	—																																																																																																																																																																																																		
耐震	第3類																																																																																																																																																																																																		
材料・構造 (温度、圧力)	温度: 常温 圧力: 大気圧以下																																																																																																																																																																																																		
型式	油回転式																																																																																																																																																																																																		
主要寸法	幅: ■■■mm 奥行: ■■■mm 高さ: ■■■mm																																																																																																																																																																																																		
主要材料	鋳鉄■■■																																																																																																																																																																																																		
性能	排気速度: ■■■m <sup>3</sup> /h/基																																																																																																																																																																																																		
核燃料物質の状態	—																																																																																																																																																																																																		
その他	外部電源喪失により、ロータリポンプが停止した場合は、ロータリポンプの入口弁を自動的に閉とし、UF <sub>6</sub> を工程内に閉じ込める。 本インターロックを図-80に示す。																																																																																																																																																																																																		
添付図	四-7、四-24																																																																																																																																																																																																		
	変更前	変更後																																																																																																																																																																																																	
名称*	—	2号捕集排気系ロータリポンプ*																																																																																																																																																																																																	
種類*	—	油回転式																																																																																																																																																																																																	
容量*	m <sup>3</sup> /h/基	■■■																																																																																																																																																																																																	
揚程又は吐出圧力	—	—*																																																																																																																																																																																																	
最高使用圧力*	hPa	上限: 960 下限: 0																																																																																																																																																																																																	
最高使用温度*	℃	40																																																																																																																																																																																																	
流体等の種類*	—	排ガス*10																																																																																																																																																																																																	
臨界管理	—	—*11																																																																																																																																																																																																	
主要寸法																																																																																																																																																																																																			
たて	mm	■■■																																																																																																																																																																																																	
横	mm	■■■																																																																																																																																																																																																	
高さ	mm	■■■																																																																																																																																																																																																	
主要材料	—	鋳鉄*12																																																																																																																																																																																																	
個数*	基	2																																																																																																																																																																																																	
取付箇所																																																																																																																																																																																																			
系統名 (ライン名)	—	捕集排気系*10																																																																																																																																																																																																	
設置床 (室名称)*7	—	2号発回均質室																																																																																																																																																																																																	
種類	—	誘導電動機*10																																																																																																																																																																																																	
出力	kW/基	3.7*10																																																																																																																																																																																																	
個数	基	2*10																																																																																																																																																																																																	
取付箇所	—	2号発回均質室*10																																																																																																																																																																																																	
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																																																	
第六条 地震による損傷の防止	【手段: 設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類: 第〇類 主要寸法: 〇〇mm 主要材料: 〇〇																																																																																																																																																																																																	
第十条 閉じ込め機能	【手段: 設備】 ・UF <sub>6</sub> を工程内に閉じ込めるインターロックを設ける	— (検出器無し)																																																																																																																																																																																																	
第十一条 火災等による損傷の防止	【手段: 設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料: 〇〇																																																																																																																																																																																																	
第十八条 警報設備等	【手段: 設備】 ・UF <sub>6</sub> を工程内に閉じ込めるインターロックを設ける	— (検出器無し)																																																																																																																																																																																																	
名称	変更前	変更後																																																																																																																																																																																																	
種類	—	うず巻形*2																																																																																																																																																																																																	
容量	m <sup>3</sup> /h/個	124.9以上*3 (124.9*4)																																																																																																																																																																																																	
揚程*	m	91.4以上*3 (91.4*4)																																																																																																																																																																																																	
最高使用圧力	MPa	1.37*3																																																																																																																																																																																																	
最高使用温度	℃	65.6*3																																																																																																																																																																																																	
吸込内径	mm	150*4, *6																																																																																																																																																																																																	
吐出内径	mm	80*4, *6																																																																																																																																																																																																	
ケーシング厚さ	mm	14.0*3, *4																																																																																																																																																																																																	
たて	mm	185*4, *6																																																																																																																																																																																																	
横	mm	968*3, *4																																																																																																																																																																																																	
高さ	mm	704*4, *6																																																																																																																																																																																																	
ケーシング*	—	SC46																																																																																																																																																																																																	
個数	—	2																																																																																																																																																																																																	
系統名 (ライン名)	—	燃料プール冷却浄化系ポンプ 燃料プール冷却浄化系*3																																																																																																																																																																																																	
設置床	—	EL. 29.00 m*3																																																																																																																																																																																																	
溢水防護上の区画番号	—	RB-4-19																																																																																																																																																																																																	
溢水防護上の配慮が必要高さ	—	EL. 29.20 m以上																																																																																																																																																																																																	
			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>種類</td><td>—</td><td>誘導電動機*8</td></tr> <tr><td>出力</td><td>kW/個</td><td>55</td></tr> <tr><td>個数</td><td>—</td><td>2</td></tr> <tr><td>取付箇所</td><td>—</td><td>ポンプと同じ*2</td></tr> </tbody> </table>		変更前	変更後	種類	—	誘導電動機*8	出力	kW/個	55	個数	—	2	取付箇所	—	ポンプと同じ*2																																																																																																																																																																																	
	変更前	変更後																																																																																																																																																																																																	
種類	—	誘導電動機*8																																																																																																																																																																																																	
出力	kW/個	55																																																																																																																																																																																																	
個数	—	2																																																																																																																																																																																																	
取付箇所	—	ポンプと同じ*2																																																																																																																																																																																																	

仕様表記載例（機種：主配管（2号UF<sub>6</sub>処理設備））

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																											
<p>【認可番号：平成6年12月15日付け「6安（核規）第665号」】</p> <p>該当しないため、記載を削除。</p> <p>表-23 UF<sub>6</sub>処理設備の仕様（主要配管）</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>主要配管</td> <td>区分</td> <td>UF<sub>6</sub>処理設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>一式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td colspan="3">2号発回均質室、2A中間室、2B中間室、2C中間室、予備室</td> </tr> <tr> <td>境界管理</td> <td colspan="3">核的制限値：濃縮度5%以下</td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td>第1類</td> <td colspan="2">第2類</td> </tr> <tr> <td>材料・構造（温度、圧力）</td> <td colspan="3">温度：電気ヒータによる加熱部は100℃、それ以外は常温 圧力：水気圧以下</td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td colspan="3">呼び径：15A～250A</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td colspan="3">ステンレス鋼</td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td colspan="3">気体UF<sub>6</sub></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="3">                     (1) 増設時に対する考慮として2B中間室、2C中間室及び予備室における配管のつなぎ込みは、集中して管理を行う。配管のつなぎ込み部は二重に弁を設け、さらに末端に閉止板を設けることにより、UF<sub>6</sub>の漏えいを防止する。                      (2) UF<sub>6</sub>の配管中での凝固を防ぐため、UF<sub>6</sub>圧力が50 Torr を超える配管及び弁に電気ヒータを巻き加熱する。                      加熱を要する配管の温度が<math>\square</math>を越えない範囲で警報を発生し、自動的にヒータの電源を切る。                      本インターロックを段-24に示す。                      (3) 弁は、無漏えい弁（バローシール弁）を用いる。                 </td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td colspan="3">図-25</td> </tr> </table>	設備機器名称	主要配管	区分	UF <sub>6</sub> 処理設備	台数	一式			設置場所	2号発回均質室、2A中間室、2B中間室、2C中間室、予備室			境界管理	核的制限値：濃縮度5%以下			放射線防護	—			耐震	第1類	第2類		材料・構造（温度、圧力）	温度：電気ヒータによる加熱部は100℃、それ以外は常温 圧力：水気圧以下			型式	—			主要寸法	呼び径：15A～250A			主要材料	ステンレス鋼			性能	—			核燃料物質の状態	気体UF <sub>6</sub>			その他	(1) 増設時に対する考慮として2B中間室、2C中間室及び予備室における配管のつなぎ込みは、集中して管理を行う。配管のつなぎ込み部は二重に弁を設け、さらに末端に閉止板を設けることにより、UF <sub>6</sub> の漏えいを防止する。 (2) UF <sub>6</sub> の配管中での凝固を防ぐため、UF <sub>6</sub> 圧力が50 Torr を超える配管及び弁に電気ヒータを巻き加熱する。 加熱を要する配管の温度が $\square$ を越えない範囲で警報を発生し、自動的にヒータの電源を切る。 本インターロックを段-24に示す。 (3) 弁は、無漏えい弁（バローシール弁）を用いる。			添付図	図-25			<table border="1"> <tr> <td>名称*</td> <td>2号発回均質室 (A~G)</td> <td>2号圧力調整弁</td> <td>2号発回均質室 (A~G) 出口配管分岐点</td> <td>2号圧力調整弁 一般バローシール弁との場合1号 出口配管分岐点</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>3.0</td> <td>2.8</td> <td>3.0</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>外径</td> <td>66.6</td> <td>60.5</td> <td>76.3</td> <td>80.1</td> </tr> <tr> <td>境界管理</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>液体等の種類</td> <td>—</td> <td>気体 UF<sub>6</sub></td> <td>—</td> <td>気体 UF<sub>6</sub></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>40</td> <td>100</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table> <p>注記 *1：記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。                  *2：記載の適正化。既設工認には「材料・構造（温度、圧力）」と記載。                  *3：記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。                  *4：記載の適正化。既設工認には「主要寸法」と記載。                  *5：濃縮度0.95%未満のウランを取り扱う配管であり、境界管理の対象外であるため「—」とする。</p>	名称*	2号発回均質室 (A~G)	2号圧力調整弁	2号発回均質室 (A~G) 出口配管分岐点	2号圧力調整弁 一般バローシール弁との場合1号 出口配管分岐点	厚さ	3.0	2.8	3.0	3.0	外径	66.6	60.5	76.3	80.1	境界管理	—	—	—	—	液体等の種類	—	気体 UF <sub>6</sub>	—	気体 UF <sub>6</sub>	最高使用温度	40	100	40	40	最高使用圧力	0	0	0	0	<p>【様式-6,7等の整理により機能要求②としたもの】</p> <table border="1"> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6,7</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <td>第四条</td> <td>【手段：設備】 核燃料物質の濃縮度、減速度及び形状寸法の核的制限値を定め、濃縮度と減速度及び濃縮度と形状寸法管理を防止</td> <td>核的制限値： 濃縮度：〇〇%</td> </tr> <tr> <td>第六条</td> <td>【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 地震による損傷の防止</td> <td>耐震重要度分類：第〇類 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十条</td> <td>【手段：設備】 閉じ込めの機能 ・耐食性を有する材料の使用</td> <td>主要材料：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十一条</td> <td>【手段：設備】 火災等による損傷の防止 ・不燃性又は難燃性材料の使用</td> <td>主要材料：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十五条</td> <td>【手段：設備】 材料及び構造 ・適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用 【手段：設備】 ・全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・座屈が生じない設計</td> <td>最高使用圧力：〇〇hPa 最高使用温度：〇〇℃ 外径：〇〇mm 厚さ：〇〇mm 主要材料：〇〇</td> </tr> </table>	技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)	第四条	【手段：設備】 核燃料物質の濃縮度、減速度及び形状寸法の核的制限値を定め、濃縮度と減速度及び濃縮度と形状寸法管理を防止	核的制限値： 濃縮度：〇〇%	第六条	【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 地震による損傷の防止	耐震重要度分類：第〇類 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇	第十条	【手段：設備】 閉じ込めの機能 ・耐食性を有する材料の使用	主要材料：〇〇	第十一条	【手段：設備】 火災等による損傷の防止 ・不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料：〇〇	第十五条	【手段：設備】 材料及び構造 ・適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用 【手段：設備】 ・全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・座屈が生じない設計	最高使用圧力：〇〇hPa 最高使用温度：〇〇℃ 外径：〇〇mm 厚さ：〇〇mm 主要材料：〇〇	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>外径 (mm)</th> <th>最高使用温度 (℃)</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>材料</th> </tr> <tr> <td>2号発回均質室 (A~G)</td> <td>3.0</td> <td>66.6</td> <td>40</td> <td>0</td> <td>SSTP410*</td> </tr> <tr> <td>2号圧力調整弁</td> <td>2.8</td> <td>60.5</td> <td>100</td> <td>0</td> <td>SSTP410*</td> </tr> <tr> <td>2号発回均質室 (A~G) 出口配管分岐点</td> <td>3.0</td> <td>76.3</td> <td>40</td> <td>0</td> <td>SSTP410*</td> </tr> <tr> <td>2号圧力調整弁 一般バローシール弁との場合1号 出口配管分岐点</td> <td>3.0</td> <td>80.1</td> <td>40</td> <td>0</td> <td>SSTP410*</td> </tr> </table>	名称	厚さ (mm)	外径 (mm)	最高使用温度 (℃)	最高使用圧力 (MPa)	材料	2号発回均質室 (A~G)	3.0	66.6	40	0	SSTP410*	2号圧力調整弁	2.8	60.5	100	0	SSTP410*	2号発回均質室 (A~G) 出口配管分岐点	3.0	76.3	40	0	SSTP410*	2号圧力調整弁 一般バローシール弁との場合1号 出口配管分岐点	3.0	80.1	40	0	SSTP410*	<p>備考</p>
設備機器名称	主要配管	区分	UF <sub>6</sub> 処理設備																																																																																																																																												
台数	一式																																																																																																																																														
設置場所	2号発回均質室、2A中間室、2B中間室、2C中間室、予備室																																																																																																																																														
境界管理	核的制限値：濃縮度5%以下																																																																																																																																														
放射線防護	—																																																																																																																																														
耐震	第1類	第2類																																																																																																																																													
材料・構造（温度、圧力）	温度：電気ヒータによる加熱部は100℃、それ以外は常温 圧力：水気圧以下																																																																																																																																														
型式	—																																																																																																																																														
主要寸法	呼び径：15A～250A																																																																																																																																														
主要材料	ステンレス鋼																																																																																																																																														
性能	—																																																																																																																																														
核燃料物質の状態	気体UF <sub>6</sub>																																																																																																																																														
その他	(1) 増設時に対する考慮として2B中間室、2C中間室及び予備室における配管のつなぎ込みは、集中して管理を行う。配管のつなぎ込み部は二重に弁を設け、さらに末端に閉止板を設けることにより、UF <sub>6</sub> の漏えいを防止する。 (2) UF <sub>6</sub> の配管中での凝固を防ぐため、UF <sub>6</sub> 圧力が50 Torr を超える配管及び弁に電気ヒータを巻き加熱する。 加熱を要する配管の温度が $\square$ を越えない範囲で警報を発生し、自動的にヒータの電源を切る。 本インターロックを段-24に示す。 (3) 弁は、無漏えい弁（バローシール弁）を用いる。																																																																																																																																														
添付図	図-25																																																																																																																																														
名称*	2号発回均質室 (A~G)	2号圧力調整弁	2号発回均質室 (A~G) 出口配管分岐点	2号圧力調整弁 一般バローシール弁との場合1号 出口配管分岐点																																																																																																																																											
厚さ	3.0	2.8	3.0	3.0																																																																																																																																											
外径	66.6	60.5	76.3	80.1																																																																																																																																											
境界管理	—	—	—	—																																																																																																																																											
液体等の種類	—	気体 UF <sub>6</sub>	—	気体 UF <sub>6</sub>																																																																																																																																											
最高使用温度	40	100	40	40																																																																																																																																											
最高使用圧力	0	0	0	0																																																																																																																																											
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																													
第四条	【手段：設備】 核燃料物質の濃縮度、減速度及び形状寸法の核的制限値を定め、濃縮度と減速度及び濃縮度と形状寸法管理を防止	核的制限値： 濃縮度：〇〇%																																																																																																																																													
第六条	【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 地震による損傷の防止	耐震重要度分類：第〇類 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇																																																																																																																																													
第十条	【手段：設備】 閉じ込めの機能 ・耐食性を有する材料の使用	主要材料：〇〇																																																																																																																																													
第十一条	【手段：設備】 火災等による損傷の防止 ・不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料：〇〇																																																																																																																																													
第十五条	【手段：設備】 材料及び構造 ・適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用 【手段：設備】 ・全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・座屈が生じない設計	最高使用圧力：〇〇hPa 最高使用温度：〇〇℃ 外径：〇〇mm 厚さ：〇〇mm 主要材料：〇〇																																																																																																																																													
名称	厚さ (mm)	外径 (mm)	最高使用温度 (℃)	最高使用圧力 (MPa)	材料																																																																																																																																										
2号発回均質室 (A~G)	3.0	66.6	40	0	SSTP410*																																																																																																																																										
2号圧力調整弁	2.8	60.5	100	0	SSTP410*																																																																																																																																										
2号発回均質室 (A~G) 出口配管分岐点	3.0	76.3	40	0	SSTP410*																																																																																																																																										
2号圧力調整弁 一般バローシール弁との場合1号 出口配管分岐点	3.0	80.1	40	0	SSTP410*																																																																																																																																										
<p>【補足説明】</p> <p>生産系インターロックのような自主設置設備であっても、事業変更許可本文の記載事項であれば、設工認本文記載対象とする。</p>	<p>工事における隔離措置として工事の方法に展開。</p> <p>基本設計方針で展開。</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p>	<p>事業変更許可において生産系のインターロックに位置付けを変更しているため、記載を削除。（本生産系インターロックは事業変更許可添付書類のみに記載）</p>	<p>図は参照番号が省略</p>	<p>図は参照番号が省略</p>																																																																																																																																											



主要設備リストで展開。

### 仕様表記載例（機種：機械装置（2号発生槽））

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																					
<p>【認可番号：平成6年12月15日付け 6安（核規）第665号】</p> <p>該当しないため、記載を削除。</p> <p>表-1 UFe処理設備の仕様（2号発生槽）</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>2号発生槽</td> <td>UFe処理設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>7基</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>2号発回均質室</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計条件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td>第1類（槽本体）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料・構造（温度、圧力）</td> <td>温度：100℃（原料シリンダの熱的制限値は121℃） 圧力：—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td>温水加熱式（直接加熱）、装荷物：原料シリンダ1本/基</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>幅：■■■■mm 全長：■■■■mm 高さ：■■■■mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>炭素鋼（■■■■）（槽本体）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td>固体UFe</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>加熱中に2号発生槽原料シリンダ圧力又は2号発生槽内温度がそれぞれ720Torr、■■■■を越えない範囲で警報を発生し、自動的に加熱用温水の供給を停止する。本インターロックを図-26に示す。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td>図-1、図-24</td> <td></td> </tr> </table> <p>別ハ（ロ）-3</p> <p>該当しないため、記載を削除。</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p>	設備機器名称	2号発生槽	UFe処理設備	台数	7基		設置場所	2号発回均質室		設計条件			放射線防護			耐震	第1類（槽本体）		材料・構造（温度、圧力）	温度：100℃（原料シリンダの熱的制限値は121℃） 圧力：—		型式	温水加熱式（直接加熱）、装荷物：原料シリンダ1本/基		主要寸法	幅：■■■■mm 全長：■■■■mm 高さ：■■■■mm		主要材料	炭素鋼（■■■■）（槽本体）		性能			核燃料物質の状態	固体UFe		その他	加熱中に2号発生槽原料シリンダ圧力又は2号発生槽内温度がそれぞれ720Torr、■■■■を越えない範囲で警報を発生し、自動的に加熱用温水の供給を停止する。本インターロックを図-26に示す。		添付図	図-1、図-24		<p>仕様表案</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称<sup>*1</sup></td> <td>—</td> <td>2号発生槽<sup>*4</sup></td> </tr> <tr> <td>種類<sup>*2</sup></td> <td>—</td> <td>温水加熱式（直接加熱）</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>—</td> <td>—<sup>*9</sup></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力<sup>*3</sup></td> <td>hPa</td> <td>上限：960 下限：0</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度<sup>*3</sup></td> <td>℃</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>流体等の種類<sup>*4</sup></td> <td>—</td> <td>固体UFe、気体UFe</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>—</td> <td>—<sup>*10</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td rowspan="4">カバー</td> <td>たて mm</td> <td>■■■■</td> </tr> <tr> <td>横 mm</td> <td>■■■■</td> </tr> <tr> <td>高さ mm</td> <td>■■■■</td> </tr> <tr> <td>槽本体</td> <td>たて mm</td> <td>■■■■</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>横 mm</td> <td>■■■■</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>高さ mm</td> <td>■■■■</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>カバー</td> <td>—</td> <td>■■■■</td> </tr> <tr> <td>槽本体</td> <td>—</td> <td>■■■■</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名（ライン名）</td> <td>—</td> <td>発生・供給系<sup>*11</sup></td> </tr> <tr> <td>設置床（室名称）<sup>*6</sup></td> <td>—</td> <td>2号発回均質室</td> </tr> </tbody> </table> <p>変更なし</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*1：記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。</li> <li>*2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。</li> <li>*3：記載の適正化。既設工認には「材料・構造（温度、圧力）」と記載。</li> <li>*4：記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。</li> <li>*5：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。</li> <li>*6：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。</li> <li>*7：2号発生槽への装荷物は原料シリンダ1本/基とし、シリンダ搬送用台車を有する設計とする。</li> <li>*8：本機器は、圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック、地震発生時の加熱停止のインターロック、温水ユニット温度高高による加熱停止のインターロックの機能を有する設計とする。</li> <li>*9：本機器は、シリンダを槽内に装填してUFeを取り扱う機器であり、槽自体には貯留する機能がないため「—」とする。</li> <li>*10：装荷物（原料シリンダ1本/基）は、取り扱うUFeの濃縮度が0.95%未満であり、臨界管理の対象外であるため「—」とする。</li> <li>*11：既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</li> </ul>		変更前	変更後	名称 <sup>*1</sup>	—	2号発生槽 <sup>*4</sup>	種類 <sup>*2</sup>	—	温水加熱式（直接加熱）	容量	—	— <sup>*9</sup>	最高使用圧力 <sup>*3</sup>	hPa	上限：960 下限：0	最高使用温度 <sup>*3</sup>	℃	100	流体等の種類 <sup>*4</sup>	—	固体UFe、気体UFe	臨界管理	—	— <sup>*10</sup>	主要寸法	カバー	たて mm	■■■■	横 mm	■■■■	高さ mm	■■■■	槽本体	たて mm	■■■■			横 mm	■■■■			高さ mm	■■■■	主要材料	カバー	—	■■■■	槽本体	—	■■■■	取付箇所	系統名（ライン名）	—	発生・供給系 <sup>*11</sup>	設置床（室名称） <sup>*6</sup>	—	2号発回均質室	<p>要求事項の整理</p> <p>【様式-6,7等の整理により機能要求②としたもの】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様（詳細設計）</th> </tr> <tr> <td></td> <td>様式-6,7</td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>【手段：設備】 （設備及び機器の耐震設計） ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施</td> <td>耐震重要度分類：第〇類 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十条 閉じ込めの機能</td> <td>【手段：設備】 ・圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける ・地震発生時の加熱停止のインターロックを設ける ・温水ユニット温度高高による加熱停止のインターロックを設ける</td> <td>検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇 警報動作範囲：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td>【手段：設備】 不燃性又は難燃性材料の使用</td> <td>主要材料：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十八条 警報設備等</td> <td>【手段：設備】 ・圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける ・地震発生時の加熱停止のインターロックを設ける ・温水ユニット温度高高による加熱停止のインターロックを設ける</td> <td>検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇 警報動作範囲：〇〇</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様（詳細設計）		様式-6,7		第六条 地震による損傷の防止	【手段：設備】 （設備及び機器の耐震設計） ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類：第〇類 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇	第十条 閉じ込めの機能	【手段：設備】 ・圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける ・地震発生時の加熱停止のインターロックを設ける ・温水ユニット温度高高による加熱停止のインターロックを設ける	検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇 警報動作範囲：〇〇	第十一条 火災等による損傷の防止	【手段：設備】 不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料：〇〇	第十八条 警報設備等	【手段：設備】 ・圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける ・地震発生時の加熱停止のインターロックを設ける ・温水ユニット温度高高による加熱停止のインターロックを設ける	検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇 警報動作範囲：〇〇	<p>発電炉類似設備要目表</p> <p>【類似設備要目表の該当無し】</p>	備考
設備機器名称	2号発生槽	UFe処理設備																																																																																																																							
台数	7基																																																																																																																								
設置場所	2号発回均質室																																																																																																																								
設計条件																																																																																																																									
放射線防護																																																																																																																									
耐震	第1類（槽本体）																																																																																																																								
材料・構造（温度、圧力）	温度：100℃（原料シリンダの熱的制限値は121℃） 圧力：—																																																																																																																								
型式	温水加熱式（直接加熱）、装荷物：原料シリンダ1本/基																																																																																																																								
主要寸法	幅：■■■■mm 全長：■■■■mm 高さ：■■■■mm																																																																																																																								
主要材料	炭素鋼（■■■■）（槽本体）																																																																																																																								
性能																																																																																																																									
核燃料物質の状態	固体UFe																																																																																																																								
その他	加熱中に2号発生槽原料シリンダ圧力又は2号発生槽内温度がそれぞれ720Torr、■■■■を越えない範囲で警報を発生し、自動的に加熱用温水の供給を停止する。本インターロックを図-26に示す。																																																																																																																								
添付図	図-1、図-24																																																																																																																								
	変更前	変更後																																																																																																																							
名称 <sup>*1</sup>	—	2号発生槽 <sup>*4</sup>																																																																																																																							
種類 <sup>*2</sup>	—	温水加熱式（直接加熱）																																																																																																																							
容量	—	— <sup>*9</sup>																																																																																																																							
最高使用圧力 <sup>*3</sup>	hPa	上限：960 下限：0																																																																																																																							
最高使用温度 <sup>*3</sup>	℃	100																																																																																																																							
流体等の種類 <sup>*4</sup>	—	固体UFe、気体UFe																																																																																																																							
臨界管理	—	— <sup>*10</sup>																																																																																																																							
主要寸法	カバー	たて mm	■■■■																																																																																																																						
		横 mm	■■■■																																																																																																																						
		高さ mm	■■■■																																																																																																																						
		槽本体	たて mm	■■■■																																																																																																																					
		横 mm	■■■■																																																																																																																						
		高さ mm	■■■■																																																																																																																						
主要材料	カバー	—	■■■■																																																																																																																						
	槽本体	—	■■■■																																																																																																																						
取付箇所	系統名（ライン名）	—	発生・供給系 <sup>*11</sup>																																																																																																																						
	設置床（室名称） <sup>*6</sup>	—	2号発回均質室																																																																																																																						
技術基準	機能要求②	主な仕様（詳細設計）																																																																																																																							
	様式-6,7																																																																																																																								
第六条 地震による損傷の防止	【手段：設備】 （設備及び機器の耐震設計） ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類：第〇類 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇																																																																																																																							
第十条 閉じ込めの機能	【手段：設備】 ・圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける ・地震発生時の加熱停止のインターロックを設ける ・温水ユニット温度高高による加熱停止のインターロックを設ける	検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇 警報動作範囲：〇〇																																																																																																																							
第十一条 火災等による損傷の防止	【手段：設備】 不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料：〇〇																																																																																																																							
第十八条 警報設備等	【手段：設備】 ・圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける ・地震発生時の加熱停止のインターロックを設ける ・温水ユニット温度高高による加熱停止のインターロックを設ける	検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇 警報動作範囲：〇〇																																																																																																																							

仕様表記載例（機種：計装設備（計測装置））

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																											
<p>【既認可仕様表の該当無し】</p> <p>【補足説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外気圧が960hPaを下回ったとしても、UF<sub>6</sub>の系統内は全て鋼製の密閉容器に収納されており、閉じ込め等の安全機能への影響はない。また、実際の系統内の圧力の設定値は960hPaから十分に余裕を見込んだ値としている。</li> <li>・上記のとおり、安全性には直接的に影響はないが、運用として六ヶ所村への大型台風の上陸等により大気圧が960hPaを下回るおそれがある場合は、気圧の監視を強化し、実際の設定値を下回る前に機器の加熱を停止すること等を警報設備等に係る説明書で明確にする。</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>原料シリンダ出口圧力計<sup>※1</sup></td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td>検出器</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>hPa</td> <td>0 ~ 1333</td> <td></td> </tr> <tr> <td>警報動作範囲</td> <td></td> <td>大気圧を超えない範囲 (960 hPa以下)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td></td> <td>原料シリンダ出口圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)</td> <td>—</td> <td>2号発回均質室</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 ※1：既設工事に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p> <p>【補足説明】</p> <p>計器番号等の注釈を削除した。発電炉では、複数の計器について、設置床、溢水防護上の区画番号、溢水防護上の配慮が必要な高さが異なる場合に、どの計器が該当するのかを明確にするための識別として記載している。</p>			変更前	変更後	名称		原料シリンダ出口圧力計 <sup>※1</sup>	変更なし	検出器の種類	—	検出器		計測範囲	hPa	0 ~ 1333		警報動作範囲		大気圧を超えない範囲 (960 hPa以下)		個数	台	1		取付箇所		原料シリンダ出口圧力		系統名 (ライン名)				設置床 (室名称)	—	2号発回均質室		<p>【様式-6,7等の整理により機能要求②としたもの】</p> <p>(当該計装設備に係る要求事項を再掲)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第十条</td> <td>【手段：設備】 閉じ込めの機能</td> <td>検出器の種類：○ 計測範囲：○hPa 警報動作範囲：○</td> </tr> <tr> <td>第十八条</td> <td>【手段：設備】 警報設備等</td> <td>検出器の種類：○ 計測範囲：○hPa 警報動作範囲：○</td> </tr> </tbody> </table> <p>【補足説明】</p> <p>発電炉の記載に合わせて、測定箇所が分かる記載とした。</p>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)	第十条	【手段：設備】 閉じ込めの機能	検出器の種類：○ 計測範囲：○hPa 警報動作範囲：○	第十八条	【手段：設備】 警報設備等	検出器の種類：○ 計測範囲：○hPa 警報動作範囲：○	<p>(8) 使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の名称、種類、計測範囲、取付箇所及び個数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> <tr> <th>使用済燃料プール温度*</th> <th>熱電対</th> <th>—</th> <th>—</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計測範囲</td> <td>—</td> <td>0~100</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>使用済燃料プール温度</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>EL.46.50 m</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>	種別	名称	変更前		変更後		使用済燃料プール温度*	熱電対	—	—	計測範囲	—	0~100	—	—	—	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	使用済燃料プール温度	—	—		設置床	—	EL.46.50 m	—	—		溢水防護上の区画番号	—	—	—	—		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	—	—	個数	—	—	1	—	—	<p>備考</p> <p>溢水評価の対象外の機器であるため、溢水に係る項目（系統名、区画等）は記載していない。</p>
		変更前	変更後																																																																																												
名称		原料シリンダ出口圧力計 <sup>※1</sup>	変更なし																																																																																												
検出器の種類	—	検出器																																																																																													
計測範囲	hPa	0 ~ 1333																																																																																													
警報動作範囲		大気圧を超えない範囲 (960 hPa以下)																																																																																													
個数	台	1																																																																																													
取付箇所		原料シリンダ出口圧力																																																																																													
系統名 (ライン名)																																																																																															
設置床 (室名称)	—	2号発回均質室																																																																																													
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																													
第十条	【手段：設備】 閉じ込めの機能	検出器の種類：○ 計測範囲：○hPa 警報動作範囲：○																																																																																													
第十八条	【手段：設備】 警報設備等	検出器の種類：○ 計測範囲：○hPa 警報動作範囲：○																																																																																													
種別	名称	変更前		変更後																																																																																											
		使用済燃料プール温度*	熱電対	—	—																																																																																										
計測範囲	—	0~100	—	—	—																																																																																										
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	使用済燃料プール温度	—	—																																																																																										
	設置床	—	EL.46.50 m	—	—																																																																																										
	溢水防護上の区画番号	—	—	—	—																																																																																										
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—	—	—																																																																																										
個数	—	—	1	—	—																																																																																										

仕様表記載例 (機種：計装設備 (インターロック))

仕様表案											要求事項の整理			発電炉類似設備要目表	備考		
変更前					変更後						【様式-6, 7等の整理により機能要求②としたもの】 (当該計装/放管設備に係る要求事項を再掲)						
インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所		インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所		インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	技術基準	機能要求②		主な仕様 (詳細設計)
			系統名 (ライン名)	設置床 (室名称)						系統名 (ライン名)	設置床 (室名称)				様式-6, 7		
圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック(2号発生槽) *1+2+3	原料シリンダ出口圧力計	1	系統名 (ライン名)	—	1	960 hPa 以下			1	変更なし				第十条	【手段：設備】 閉じ込めの機能	・圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける ・地震発生時の加熱停止のインターロックを設ける ・温水ユニット温度高高による加熱停止のインターロックを設ける	検出器の種類：○○ 計測範囲：○○hPa 警報動作範囲：○○
			設置床 (室名称)	2号発回均質室						変更なし							
	発生槽内温度計	1	系統名 (ライン名)	—	1	■℃ 以下			変更なし				第十八条 等	【手段：設備】 警報設備	・圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロックを設ける ・地震発生時の加熱停止のインターロックを設ける ・温水ユニット温度高高による加熱停止のインターロックを設ける	検出器の種類：○○ 計測範囲：○○hPa 警報動作範囲：○○	
		設置床 (室名称)	2号発回均質室	変更なし													

注記 \*1：既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。  
 \*2：本インターロックは、2号発生槽の加熱中に原料シリンダ内の圧力又は温度が異常に上昇した場合に、大気圧を超えない範囲又は管理温度を超えない範囲で、警報を発するとともに自動的に加熱用温水の供給を停止する。  
 \*3：本インターロックは2号発生槽ごとに設置する。2号発生槽は7基あるため、本インターロックは計7式設置する。

仕様表記載例（機種：遠心分離機（遠心分離機 RE-2A 後半））

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																										
<p>表-1 カスケード設備の仕様（遠心分離機）</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>遠心分離機</td> <td>区分</td> <td>カスケード設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td colspan="3">1台 (150tV/年分) × 3</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td colspan="3">2Aカスケード室、2Bカスケード室及び2Cカスケード室</td> </tr> <tr> <td>境界管理</td> <td colspan="3">核的制限値：濃縮度 5%以下</td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td colspan="3">密封構造</td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td colspan="3">第2類</td> </tr> <tr> <td>材料・構造 (温度、圧力)</td> <td colspan="3">温度：常温 圧力：大気圧以下</td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td colspan="3">集合型</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td colspan="3">内径：100mm以下 高さ：100mm 内厚：10mm以上、上板 10mm以上、下板 10mm以上</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td colspan="3">(上板及び下板) アルミニウム合金 ケーシング</td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td colspan="3">150 tVU/年 (150tV/年分) × 3</td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の形態</td> <td colspan="3">気体 UF<sub>6</sub></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="3">遠心分離機は、万一、回転体が破損してもケーシングの真空気密性が十分に保たれるように、回転体の厚み及び外径は破損試験に準拠した寸法（参考資料：遠心分離機の真空気密性能）とする。以上により強度設計を行うため、系外に漏えいが生じることはない。</td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td colspan="3">図-1、図-2</td> </tr> </table>	設備機器名称	遠心分離機	区分	カスケード設備	台数	1台 (150tV/年分) × 3			設置場所	2Aカスケード室、2Bカスケード室及び2Cカスケード室			境界管理	核的制限値：濃縮度 5%以下			放射線防護	密封構造			耐震	第2類			材料・構造 (温度、圧力)	温度：常温 圧力：大気圧以下			型式	集合型			主要寸法	内径：100mm以下 高さ：100mm 内厚：10mm以上、上板 10mm以上、下板 10mm以上			主要材料	(上板及び下板) アルミニウム合金 ケーシング			性能	150 tVU/年 (150tV/年分) × 3			核燃料物質の形態	気体 UF <sub>6</sub>			その他	遠心分離機は、万一、回転体が破損してもケーシングの真空気密性が十分に保たれるように、回転体の厚み及び外径は破損試験に準拠した寸法（参考資料：遠心分離機の真空気密性能）とする。以上により強度設計を行うため、系外に漏えいが生じることはない。			添付図	図-1、図-2			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称<sup>*1</sup></td> <td>-</td> <td>遠心分離機 (RE-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>種類<sup>*2</sup></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力<sup>*3</sup></td> <td>hPa</td> <td>上限：960 下限：0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度<sup>*4</sup></td> <td>℃</td> <td>40</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>流体等の種類<sup>*4</sup></td> <td>-</td> <td>気体 UF<sub>6</sub></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>核的制限値</td> <td>濃縮度</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主要寸法</td> <td>上フランジ</td> <td>肉厚</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ケーシング</td> <td>胴内径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>内厚</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下端板</td> <td>外径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>外周部肉厚</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>下フランジ</td> <td>肉厚</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ブロック配管</td> <td>外径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要材料</td> <td>上フランジ</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ケーシング</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>下端板</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>下フランジ</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>ブロック配管</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>個数<sup>*5</sup></td> <td>機</td> <td>RE- RE-</td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>-</td> <td>2A カスケード系</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)<sup>*6</sup></td> <td>-</td> <td>2A カスケード室</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	変更前		変更後		名称 <sup>*1</sup>	-	遠心分離機 (RE-	-	種類 <sup>*2</sup>	-	-	-	最高使用圧力 <sup>*3</sup>	hPa	上限：960 下限：0	-	最高使用温度 <sup>*4</sup>	℃	40	-	流体等の種類 <sup>*4</sup>	-	気体 UF <sub>6</sub>	-	臨界管理	核的制限値	濃縮度	%	主要寸法	上フランジ	肉厚	mm	ケーシング	胴内径	mm	高さ	mm	内厚	mm	下端板	外径	mm	外周部肉厚	mm	下フランジ	肉厚	mm	ブロック配管	外径	mm	厚さ	mm	主要材料	上フランジ	-	-	ケーシング	-	-	下端板	-	-	下フランジ	-	-	取付箇所	ブロック配管	-	-	個数 <sup>*5</sup>	機	RE- RE-	系統名 (ライン名)	-	2A カスケード系	-	設置床 (室名称) <sup>*6</sup>	-	2A カスケード室	-	<p>【様式-6, 7等の整理により機能要求②としたもの】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6, 7</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第四条 核燃料物質の臨界防止</td> <td>【手段：設備】 ・濃縮度、減速度及び形状寸法の核的制限値を定め、濃縮度と減速度及び濃縮度と形状寸法管理を組み合わせ管理</td> <td>核的制限値： 濃縮度：0.0%</td> </tr> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施</td> <td>耐震重要度分類：第0類 主要寸法：0.0mm 主要材料：0.0</td> </tr> <tr> <td>第十条 閉じ込めの機能</td> <td>【手段：設備】 ・耐食性を有する材料の使用 ・回転体が破損しても外筒の真空気密性が十分に保たれる設計</td> <td>主要寸法：0.0mm 主要材料：0.0</td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td>【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用</td> <td>主要材料：0.0</td> </tr> <tr> <td>第十五条 材料及び構造</td> <td>【手段：設備】 ・適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用 【手段：設備】 ・全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・座屈が生じない設計</td> <td>最高使用圧力：0.0 hPa 最高使用温度：0.0℃ 外径：0.0mm 厚さ：0.0mm 主要材料：0.0</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求② 様式-6, 7	主な仕様 (詳細設計)	第四条 核燃料物質の臨界防止	【手段：設備】 ・濃縮度、減速度及び形状寸法の核的制限値を定め、濃縮度と減速度及び濃縮度と形状寸法管理を組み合わせ管理	核的制限値： 濃縮度：0.0%	第六条 地震による損傷の防止	【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類：第0類 主要寸法：0.0mm 主要材料：0.0	第十条 閉じ込めの機能	【手段：設備】 ・耐食性を有する材料の使用 ・回転体が破損しても外筒の真空気密性が十分に保たれる設計	主要寸法：0.0mm 主要材料：0.0	第十一条 火災等による損傷の防止	【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料：0.0	第十五条 材料及び構造	【手段：設備】 ・適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用 【手段：設備】 ・全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・座屈が生じない設計	最高使用圧力：0.0 hPa 最高使用温度：0.0℃ 外径：0.0mm 厚さ：0.0mm 主要材料：0.0	<p>【類似設備要目表の該当無し】</p>	<p>備考</p>
設備機器名称	遠心分離機	区分	カスケード設備																																																																																																																																																											
台数	1台 (150tV/年分) × 3																																																																																																																																																													
設置場所	2Aカスケード室、2Bカスケード室及び2Cカスケード室																																																																																																																																																													
境界管理	核的制限値：濃縮度 5%以下																																																																																																																																																													
放射線防護	密封構造																																																																																																																																																													
耐震	第2類																																																																																																																																																													
材料・構造 (温度、圧力)	温度：常温 圧力：大気圧以下																																																																																																																																																													
型式	集合型																																																																																																																																																													
主要寸法	内径：100mm以下 高さ：100mm 内厚：10mm以上、上板 10mm以上、下板 10mm以上																																																																																																																																																													
主要材料	(上板及び下板) アルミニウム合金 ケーシング																																																																																																																																																													
性能	150 tVU/年 (150tV/年分) × 3																																																																																																																																																													
核燃料物質の形態	気体 UF <sub>6</sub>																																																																																																																																																													
その他	遠心分離機は、万一、回転体が破損してもケーシングの真空気密性が十分に保たれるように、回転体の厚み及び外径は破損試験に準拠した寸法（参考資料：遠心分離機の真空気密性能）とする。以上により強度設計を行うため、系外に漏えいが生じることはない。																																																																																																																																																													
添付図	図-1、図-2																																																																																																																																																													
変更前		変更後																																																																																																																																																												
名称 <sup>*1</sup>	-	遠心分離機 (RE-	-																																																																																																																																																											
種類 <sup>*2</sup>	-	-	-																																																																																																																																																											
最高使用圧力 <sup>*3</sup>	hPa	上限：960 下限：0	-																																																																																																																																																											
最高使用温度 <sup>*4</sup>	℃	40	-																																																																																																																																																											
流体等の種類 <sup>*4</sup>	-	気体 UF <sub>6</sub>	-																																																																																																																																																											
臨界管理	核的制限値	濃縮度	%																																																																																																																																																											
主要寸法	上フランジ	肉厚	mm																																																																																																																																																											
	ケーシング	胴内径	mm																																																																																																																																																											
		高さ	mm																																																																																																																																																											
		内厚	mm																																																																																																																																																											
	下端板	外径	mm																																																																																																																																																											
		外周部肉厚	mm																																																																																																																																																											
下フランジ	肉厚	mm																																																																																																																																																												
ブロック配管	外径	mm																																																																																																																																																												
	厚さ	mm																																																																																																																																																												
主要材料	上フランジ	-	-																																																																																																																																																											
	ケーシング	-	-																																																																																																																																																											
	下端板	-	-																																																																																																																																																											
	下フランジ	-	-																																																																																																																																																											
取付箇所	ブロック配管	-	-																																																																																																																																																											
	個数 <sup>*5</sup>	機	RE- RE-																																																																																																																																																											
系統名 (ライン名)	-	2A カスケード系	-																																																																																																																																																											
設置床 (室名称) <sup>*6</sup>	-	2A カスケード室	-																																																																																																																																																											
技術基準	機能要求② 様式-6, 7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																												
第四条 核燃料物質の臨界防止	【手段：設備】 ・濃縮度、減速度及び形状寸法の核的制限値を定め、濃縮度と減速度及び濃縮度と形状寸法管理を組み合わせ管理	核的制限値： 濃縮度：0.0%																																																																																																																																																												
第六条 地震による損傷の防止	【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類：第0類 主要寸法：0.0mm 主要材料：0.0																																																																																																																																																												
第十条 閉じ込めの機能	【手段：設備】 ・耐食性を有する材料の使用 ・回転体が破損しても外筒の真空気密性が十分に保たれる設計	主要寸法：0.0mm 主要材料：0.0																																																																																																																																																												
第十一条 火災等による損傷の防止	【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料：0.0																																																																																																																																																												
第十五条 材料及び構造	【手段：設備】 ・適切な機械的強度及び化学的成分を有する材料を使用 【手段：設備】 ・全体的な変形を弾性域に抑える設計 ・座屈が生じない設計	最高使用圧力：0.0 hPa 最高使用温度：0.0℃ 外径：0.0mm 厚さ：0.0mm 主要材料：0.0																																																																																																																																																												
<p>主要設備リストで展開。</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p> <p>基本設計方針で展開。</p> <p>【補足説明】 下端板は、破壊評価試験に関連する評価部位であることを踏まえ、主要材料の記載を追加する。</p>	<p>注記 *1：記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認には「材料・構造（温度、圧力）」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。 *5：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *6：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *7：金属製遠心機から新型遠心機への変更であるが、金属製遠心機については別途申請の「新規基準への適合に係る申請（第1回～第5回申請）」の第3回申請にて撤去することを申請しており、認可済みであることから「-」とする。 *8：種別を必要としないため「-」とする。 *9：公称値を示す。 *10：別紙1「アルミニウム合金規格表」参照。 *11：別紙2「規格表」参照。</p>																																																																																																																																																													

仕様表記載例（機種：高周波インバータ装置（2A 後半高周波インバータ装置））

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																	
<p>表-1 高周波電源設備の仕様(2A高周波インバータ)</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>2A高周波インバータ</td> <td>区分</td> <td>高周波電源設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>1台</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>2ABC高周波電源室</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td>臨界管理</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>放射線防護</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>条件</td> <td>耐震</td> <td>第3類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>仕様</td> <td>材料・構造(温度、圧力)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>型式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>幅: 5200 mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>奥行: 1940 mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ: 2250 mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>主要寸法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>主要材料</td> <td>炭素鋼 (SS400) (鋼体)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>性能</td> <td>出力周波数監視の精度: 定格周波数(2) + Hz 以下とする。</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>燃料物質の状態</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>2A高周波インバータは出力周波数を監視し、定格周波数(2) + Hz を超えない範囲で警報を発し、基準発振器の機能を停止する。 2A高周波インバータのブロック図を図-3に示す。</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>添付図</td> <td>図-1、図-2</td> <td></td> </tr> </table> <p>【補足説明】          全社作成要領において、「同一仕様の設備は、仕様表を1つにまとめてよい」としているが、本設備は仕様(寸法)が異なるものを1つにまとめていたため、2つに見直した。(仕様表を2つに分割)</p>	設備機器名称	2A高周波インバータ	区分	高周波電源設備	台数	1台			設置場所	2ABC高周波電源室			設計	臨界管理				放射線防護			条件	耐震	第3類		仕様	材料・構造(温度、圧力)				型式				幅: 5200 mm				奥行: 1940 mm				高さ: 2250 mm				主要寸法				主要材料	炭素鋼 (SS400) (鋼体)			性能	出力周波数監視の精度: 定格周波数(2) + Hz 以下とする。			燃料物質の状態				その他	2A高周波インバータは出力周波数を監視し、定格周波数(2) + Hz を超えない範囲で警報を発し、基準発振器の機能を停止する。 2A高周波インバータのブロック図を図-3に示す。			添付図	図-1、図-2		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称*</td> <td>-</td> <td></td> <td>高周波インバータ装置*</td> </tr> <tr> <td>種類*</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>Hz</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td></td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td></td> <td>2400</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td></td> <td>2250</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td></td> <td></td> <td>炭素鋼*</td> </tr> <tr> <td>個数*</td> <td>台</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td></td> <td></td> <td>2Aカスケード系*</td> </tr> <tr> <td>設置床(室名称)**</td> <td></td> <td></td> <td>2号高周波電源室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。          *2: 記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。          *3: 記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。          *4: 記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。          *5: 金属鋼遠心機駆動用から新型遠心機駆動用の高周波インバータ装置への変更であるが、金属鋼遠心機駆動用の高周波インバータ装置については別途申請の「新規制基準への適合に係る申請(第1回~第5回申請)」の第3回申請にて撤去することを申請しており、認可済みであることから「-」とする。          *6: 本機器は、遠心機過回転防止機能の機能を有する設計とする。          *7: UF<sub>0</sub>を内包する機器ではなく、UF<sub>0</sub>を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。</p>			変更前	変更後	名称*	-		高周波インバータ装置*	種類*	-			周波数	Hz			主要寸法				たて	mm		1000	横	mm		2400	高さ	mm		2250	主要材料			炭素鋼*	個数*	台			取付箇所			2Aカスケード系*	設置床(室名称)**			2号高周波電源室	<p>【様式-6,7等の整理により機能要求②としたもの】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th rowspan="2">主な仕様(詳細設計)</th> </tr> <tr> <th>様式-6,7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>【手段:設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施</td> <td>耐震重要度分類:第0類 主要寸法:○○mm 主要材料:○○</td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td>【手段:設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用</td> <td>主要材料:○○</td> </tr> <tr> <td>第十八条 警報設備等</td> <td>【手段:設備】 (高周波電源設備) ・遠心機過回転防止機能を設ける</td> <td>周波数:○○Hz</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様(詳細設計)	様式-6,7	第六条 地震による損傷の防止	【手段:設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類:第0類 主要寸法:○○mm 主要材料:○○	第十一条 火災等による損傷の防止	【手段:設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料:○○	第十八条 警報設備等	【手段:設備】 (高周波電源設備) ・遠心機過回転防止機能を設ける	周波数:○○Hz	<p>【類似設備要目表の該当無し】</p>	<p>備考</p>
設備機器名称	2A高周波インバータ	区分	高周波電源設備																																																																																																																																		
台数	1台																																																																																																																																				
設置場所	2ABC高周波電源室																																																																																																																																				
設計	臨界管理																																																																																																																																				
	放射線防護																																																																																																																																				
条件	耐震	第3類																																																																																																																																			
仕様	材料・構造(温度、圧力)																																																																																																																																				
	型式																																																																																																																																				
	幅: 5200 mm																																																																																																																																				
	奥行: 1940 mm																																																																																																																																				
	高さ: 2250 mm																																																																																																																																				
	主要寸法																																																																																																																																				
	主要材料	炭素鋼 (SS400) (鋼体)																																																																																																																																			
	性能	出力周波数監視の精度: 定格周波数(2) + Hz 以下とする。																																																																																																																																			
	燃料物質の状態																																																																																																																																				
	その他	2A高周波インバータは出力周波数を監視し、定格周波数(2) + Hz を超えない範囲で警報を発し、基準発振器の機能を停止する。 2A高周波インバータのブロック図を図-3に示す。																																																																																																																																			
	添付図	図-1、図-2																																																																																																																																			
		変更前	変更後																																																																																																																																		
名称*	-		高周波インバータ装置*																																																																																																																																		
種類*	-																																																																																																																																				
周波数	Hz																																																																																																																																				
主要寸法																																																																																																																																					
たて	mm		1000																																																																																																																																		
横	mm		2400																																																																																																																																		
高さ	mm		2250																																																																																																																																		
主要材料			炭素鋼*																																																																																																																																		
個数*	台																																																																																																																																				
取付箇所			2Aカスケード系*																																																																																																																																		
設置床(室名称)**			2号高周波電源室																																																																																																																																		
技術基準	機能要求②	主な仕様(詳細設計)																																																																																																																																			
	様式-6,7																																																																																																																																				
第六条 地震による損傷の防止	【手段:設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類:第0類 主要寸法:○○mm 主要材料:○○																																																																																																																																			
第十一条 火災等による損傷の防止	【手段:設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料:○○																																																																																																																																			
第十八条 警報設備等	【手段:設備】 (高周波電源設備) ・遠心機過回転防止機能を設ける	周波数:○○Hz																																																																																																																																			

該当しないため、記載を削除。

添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除

基本設計方針で展開。

該当しないため、記載を削除。

主要設備リストで展開。

該当しないため、記載を削除。

### 仕様表記載例（機種：ファン（1号均質室系排風機））

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																																																																																																																	
<p>【認可番号：元安（核規）第376号 平成元年8月17日】</p> <p>表-8 気体廃棄物の廃棄設備の仕様（均質室系排風機）</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>均質室系排風機</td> <td>区分</td> <td>放射性廃棄物の廃棄設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>2基 (100%×2)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>排気室</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>境界管理</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td>第2・類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料・構造 (温度、圧力)</td> <td>温度：常温 圧力：—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td>遠心式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>幅：約3350mm 奥行：約1880mm 高さ：約2650mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>炭素鋼(SS41)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td>風量：78000m<sup>3</sup>/h/基以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料物質の状態</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>(1) 第1種管理区域の均質室系の室内が正圧になることを防ぐため、以下のインターロックを設ける。 a. 起動時には均質室系排風機を均質室系送風機及び分析系送風機より先に起動させる。また、均質室系送風機は、均質室系送風機より先に起動させる。 b. 停止時には、均質室系送風機及び分析系送風機を均質室系排風機より先に停止させる。また、均質室系送風機は、均質室系送風機より先に停止させる。 c. 運転中の均質室系排風機の故障時には、待機中の均質室系排風機を起動し、排気設備の運転を継続する。 本インターロックを図-10に示す。 (2) 安全を確保する機能を確保するための検査又は試験及びこれらの機能を完全に維持するための保守又は修理ができる構造とする。</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>添付図 図-8、図-14</p> <p>別添(イ)-10</p>	設備機器名称	均質室系排風機	区分	放射性廃棄物の廃棄設備	台数	2基 (100%×2)			設置場所	排気室			境界管理				放射線防護				耐震	第2・類			材料・構造 (温度、圧力)	温度：常温 圧力：—			型式	遠心式			主要寸法	幅：約3350mm 奥行：約1880mm 高さ：約2650mm			主要材料	炭素鋼(SS41)			性能	風量：78000m <sup>3</sup> /h/基以上			燃料物質の状態				その他	(1) 第1種管理区域の均質室系の室内が正圧になることを防ぐため、以下のインターロックを設ける。 a. 起動時には均質室系排風機を均質室系送風機及び分析系送風機より先に起動させる。また、均質室系送風機は、均質室系送風機より先に起動させる。 b. 停止時には、均質室系送風機及び分析系送風機を均質室系排風機より先に停止させる。また、均質室系送風機は、均質室系送風機より先に停止させる。 c. 運転中の均質室系排風機の故障時には、待機中の均質室系排風機を起動し、排気設備の運転を継続する。 本インターロックを図-10に示す。 (2) 安全を確保する機能を確保するための検査又は試験及びこれらの機能を完全に維持するための保守又は修理ができる構造とする。			<p>主要設備リストで展開。</p> <table border="1"> <tr> <td>名称*</td> <td>—</td> <td>1号均質室系排風機</td> <td>変更前</td> <td>変更後</td> </tr> <tr> <td>種類*</td> <td>—</td> <td>遠心式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量(風量)*5</td> <td>m<sup>3</sup>/h/基</td> <td>78000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力*4</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度*4</td> <td>℃</td> <td>40</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>流体等の種類*6</td> <td>—</td> <td>空気*10</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1880</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3350</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2650</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケーシング</td> <td>—</td> <td>炭素鋼*11</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数*</td> <td>基</td> <td>2(内予備1)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取得箇所</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>1号均質室系*10</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床(室名称)*7</td> <td>—</td> <td>排気室</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*12</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>mm</td> <td>—*13</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原動機</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>誘導電動機*10</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/基</td> <td>90*10</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>基</td> <td>2(内予備1)*10</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取得箇所</td> <td>—</td> <td>排気室*10</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>注記 *1：記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認には「性能」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認には「材料・構造(温度、圧力)」と記載。 *5：記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。 *6：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *7：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *8：本機器は、第1種管理区域の排気機能維持の機能を有する設計とする。 *9：本機器は、大気圧付近の圧力で使用する排風機であり、その機能及び構造上の耐圧機能を必要としないため、最高圧力を設定しない。 *10：既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *11：UF<sub>6</sub>を内包する機器ではなく、UF<sub>6</sub>を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。 *12：溢水防護上の区画番号を設定していないことから「—」とする。 *13：溢水が滞留しない排気室に設置することから溢水防護上の配慮が必要な高さは「—」とする。</p>	名称*	—	1号均質室系排風機	変更前	変更後	種類*	—	遠心式			容量(風量)*5	m <sup>3</sup> /h/基	78000			最高使用圧力*4	—	—			最高使用温度*4	℃	40			流体等の種類*6	—	空気*10			主要寸法					たて	mm	1880			横	mm	3350			高さ	mm	2650			主要材料					ケーシング	—	炭素鋼*11			個数*	基	2(内予備1)			取得箇所					系統名(ライン名)	—	1号均質室系*10			設置床(室名称)*7	—	排気室			溢水防護上の区画番号	—	—*12			溢水防護上の配慮が必要な高さ	mm	—*13			原動機					種類	—	誘導電動機*10			出力	kW/基	90*10			個数	基	2(内予備1)*10			取得箇所	—	排気室*10			<p>【様式-6,7等の整理により機能要求②としたもの】</p> <table border="1"> <tr> <td>技術基準</td> <td>機能要求② 様式-6,7</td> <td>主な仕様 (詳細設計)</td> </tr> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施</td> <td>耐震重要度分類：第0類 主要寸法：○○mm 主要材料：○○</td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td>【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用</td> <td>主要材料：○○</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水による損傷の防止</td> <td>【手段：設備】 ・負圧維持(排風機、排気フィルタの浸水防止)</td> <td>溢水防護上の必要高さ：— (溢水が滞留しない排気室に設置することで高さ設定をしない)</td> </tr> <tr> <td>第十八条 警報設備等</td> <td>【手段：設備】 ・第1種管理区域の排気機能維持を設ける</td> <td>第1種管理区域の排気機能維持(既設)の機能を有する設計</td> </tr> <tr> <td>第二十三条 換気設備</td> <td>【手段：設備】 ・第1種管理区域内の室内容積に対して十分な換気能力を有する設計とする</td> <td>風量：○○m<sup>3</sup>/h/基</td> </tr> </table>	技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類：第0類 主要寸法：○○mm 主要材料：○○	第十一条 火災等による損傷の防止	【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料：○○	第十二条 溢水による損傷の防止	【手段：設備】 ・負圧維持(排風機、排気フィルタの浸水防止)	溢水防護上の必要高さ：— (溢水が滞留しない排気室に設置することで高さ設定をしない)	第十八条 警報設備等	【手段：設備】 ・第1種管理区域の排気機能維持を設ける	第1種管理区域の排気機能維持(既設)の機能を有する設計	第二十三条 換気設備	【手段：設備】 ・第1種管理区域内の室内容積に対して十分な換気能力を有する設計とする	風量：○○m <sup>3</sup> /h/基	<p>発電炉類似設備要目表</p> <p>(5) 排風機の名称、種類、容量、主要寸法、個数及び取得箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取得箇所(常設及び可搬型の別に記載すること。)並びに設計上の空気の流入率</p> <table border="1"> <tr> <td>名称</td> <td>中央制御室換気系フィルタ系ファン*1</td> <td>変更前</td> <td>変更後</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>遠心式*2</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/個*3</td> <td>5100以上(5100*4)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吸込口径</td> <td>mm</td> <td>450*4</td> <td>391*4</td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm</td> <td>350*4×500*4</td> <td>271*4×321*4</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1415*4</td> <td>1200*4</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1132*4</td> <td>780*4</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1020*4</td> <td>1250*4</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統名(ライン名)</td> <td>—</td> <td>中央制御室換気系フィルタ系ファン 中央制御室換気系*4</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>EL.23.00m*5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td></td> <td>CS-3-1</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td></td> <td>EL.23.00m以上</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td>誘導電動機*5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/個</td> <td>7.5*5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>2*5</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>取得箇所</td> <td>—</td> <td>排風機と同じ*5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計上の空気の流入率</td> <td>回/h</td> <td>1.0*5</td> <td></td> </tr> </table> <p>注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「排風機」と記載。 *2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「遠心」と記載。 *3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「m<sup>3</sup>/h」と記載。 *4：公称値を示す。 *5：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>	名称	中央制御室換気系フィルタ系ファン*1	変更前	変更後	種類	—	遠心式*2	変更なし	容量	m <sup>3</sup> /h/個*3	5100以上(5100*4)		吸込口径	mm	450*4	391*4	吐出口径	mm	350*4×500*4	271*4×321*4	たて	mm	1415*4	1200*4	横	mm	1132*4	780*4	高さ	mm	1020*4	1250*4	個数	—	2		系統名(ライン名)	—	中央制御室換気系フィルタ系ファン 中央制御室換気系*4	変更なし	設置床	—	EL.23.00m*5		溢水防護上の区画番号	—		CS-3-1	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—		EL.23.00m以上	種類	—	誘導電動機*5		出力	kW/個	7.5*5		個数	—	2*5	変更なし	取得箇所	—	排風機と同じ*5		設計上の空気の流入率	回/h	1.0*5		<p>強度評価等の対象外の機器であるため、口径は記載していない。</p> <p>中央制御室の居住性に係る排風機ではないため、「設計上の空気の流入率」は記載していない。</p>
設備機器名称	均質室系排風機	区分	放射性廃棄物の廃棄設備																																																																																																																																																																																																																																																																		
台数	2基 (100%×2)																																																																																																																																																																																																																																																																				
設置場所	排気室																																																																																																																																																																																																																																																																				
境界管理																																																																																																																																																																																																																																																																					
放射線防護																																																																																																																																																																																																																																																																					
耐震	第2・類																																																																																																																																																																																																																																																																				
材料・構造 (温度、圧力)	温度：常温 圧力：—																																																																																																																																																																																																																																																																				
型式	遠心式																																																																																																																																																																																																																																																																				
主要寸法	幅：約3350mm 奥行：約1880mm 高さ：約2650mm																																																																																																																																																																																																																																																																				
主要材料	炭素鋼(SS41)																																																																																																																																																																																																																																																																				
性能	風量：78000m <sup>3</sup> /h/基以上																																																																																																																																																																																																																																																																				
燃料物質の状態																																																																																																																																																																																																																																																																					
その他	(1) 第1種管理区域の均質室系の室内が正圧になることを防ぐため、以下のインターロックを設ける。 a. 起動時には均質室系排風機を均質室系送風機及び分析系送風機より先に起動させる。また、均質室系送風機は、均質室系送風機より先に起動させる。 b. 停止時には、均質室系送風機及び分析系送風機を均質室系排風機より先に停止させる。また、均質室系送風機は、均質室系送風機より先に停止させる。 c. 運転中の均質室系排風機の故障時には、待機中の均質室系排風機を起動し、排気設備の運転を継続する。 本インターロックを図-10に示す。 (2) 安全を確保する機能を確保するための検査又は試験及びこれらの機能を完全に維持するための保守又は修理ができる構造とする。																																																																																																																																																																																																																																																																				
名称*	—	1号均質室系排風機	変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																																																																	
種類*	—	遠心式																																																																																																																																																																																																																																																																			
容量(風量)*5	m <sup>3</sup> /h/基	78000																																																																																																																																																																																																																																																																			
最高使用圧力*4	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																			
最高使用温度*4	℃	40																																																																																																																																																																																																																																																																			
流体等の種類*6	—	空気*10																																																																																																																																																																																																																																																																			
主要寸法																																																																																																																																																																																																																																																																					
たて	mm	1880																																																																																																																																																																																																																																																																			
横	mm	3350																																																																																																																																																																																																																																																																			
高さ	mm	2650																																																																																																																																																																																																																																																																			
主要材料																																																																																																																																																																																																																																																																					
ケーシング	—	炭素鋼*11																																																																																																																																																																																																																																																																			
個数*	基	2(内予備1)																																																																																																																																																																																																																																																																			
取得箇所																																																																																																																																																																																																																																																																					
系統名(ライン名)	—	1号均質室系*10																																																																																																																																																																																																																																																																			
設置床(室名称)*7	—	排気室																																																																																																																																																																																																																																																																			
溢水防護上の区画番号	—	—*12																																																																																																																																																																																																																																																																			
溢水防護上の配慮が必要な高さ	mm	—*13																																																																																																																																																																																																																																																																			
原動機																																																																																																																																																																																																																																																																					
種類	—	誘導電動機*10																																																																																																																																																																																																																																																																			
出力	kW/基	90*10																																																																																																																																																																																																																																																																			
個数	基	2(内予備1)*10																																																																																																																																																																																																																																																																			
取得箇所	—	排気室*10																																																																																																																																																																																																																																																																			
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																																																																																																																			
第六条 地震による損傷の防止	【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類：第0類 主要寸法：○○mm 主要材料：○○																																																																																																																																																																																																																																																																			
第十一条 火災等による損傷の防止	【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料：○○																																																																																																																																																																																																																																																																			
第十二条 溢水による損傷の防止	【手段：設備】 ・負圧維持(排風機、排気フィルタの浸水防止)	溢水防護上の必要高さ：— (溢水が滞留しない排気室に設置することで高さ設定をしない)																																																																																																																																																																																																																																																																			
第十八条 警報設備等	【手段：設備】 ・第1種管理区域の排気機能維持を設ける	第1種管理区域の排気機能維持(既設)の機能を有する設計																																																																																																																																																																																																																																																																			
第二十三条 換気設備	【手段：設備】 ・第1種管理区域内の室内容積に対して十分な換気能力を有する設計とする	風量：○○m <sup>3</sup> /h/基																																																																																																																																																																																																																																																																			
名称	中央制御室換気系フィルタ系ファン*1	変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																																																																		
種類	—	遠心式*2	変更なし																																																																																																																																																																																																																																																																		
容量	m <sup>3</sup> /h/個*3	5100以上(5100*4)																																																																																																																																																																																																																																																																			
吸込口径	mm	450*4	391*4																																																																																																																																																																																																																																																																		
吐出口径	mm	350*4×500*4	271*4×321*4																																																																																																																																																																																																																																																																		
たて	mm	1415*4	1200*4																																																																																																																																																																																																																																																																		
横	mm	1132*4	780*4																																																																																																																																																																																																																																																																		
高さ	mm	1020*4	1250*4																																																																																																																																																																																																																																																																		
個数	—	2																																																																																																																																																																																																																																																																			
系統名(ライン名)	—	中央制御室換気系フィルタ系ファン 中央制御室換気系*4	変更なし																																																																																																																																																																																																																																																																		
設置床	—	EL.23.00m*5																																																																																																																																																																																																																																																																			
溢水防護上の区画番号	—		CS-3-1																																																																																																																																																																																																																																																																		
溢水防護上の配慮が必要な高さ	—		EL.23.00m以上																																																																																																																																																																																																																																																																		
種類	—	誘導電動機*5																																																																																																																																																																																																																																																																			
出力	kW/個	7.5*5																																																																																																																																																																																																																																																																			
個数	—	2*5	変更なし																																																																																																																																																																																																																																																																		
取得箇所	—	排風機と同じ*5																																																																																																																																																																																																																																																																			
設計上の空気の流入率	回/h	1.0*5																																																																																																																																																																																																																																																																			
<p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p> <p>基本設計方針で展開。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																					

該当しないため、記載を削除。

主要設備リストで展開。

### 仕様表記載例（機種：主配管（1号排気ダクト））

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																								
<p>【認可番号：元安（核規）第376号 平成元年8月17日】</p> <p>表-14 気体廃棄物の廃棄設備の仕様（主要排気ダクト）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>設備機器名称</th> <th>主要排気ダクト</th> <th>区分</th> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>一式</td> <td>気体廃棄物の廃棄設備</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td colspan="2">A中間室、B中間室、発生回収室、搬送通路、管理廃水処理室、修繕室、ホット機械予備品室、前室、排気室、均質室、ホット計器室、ホット電気予備品室、除染室、分析室、モニタエリア、更衣エリア、予備室</td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td colspan="2">           臨界管理            放射線防護            耐震 第3類         </td> </tr> <tr> <td>条件</td> <td colspan="2">           材料・構造 (温度、圧力)            温度：常温            圧力：         </td> </tr> <tr> <td>仕様</td> <td colspan="2">           型式            主要寸法            幅：約150～約3600mm            高さ：約150～約3600mm            呼び径：約350～約500φ            主要材料 炭素鋼（亜鉛鉄板、SS41）         </td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td colspan="2">           性能            接続材材質の状態         </td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="2">           (1) 増設時に対する考慮として、中間室における排気ダクトのつなぎ込みは、接続エリアに集中して管理を行う。            排気ダクトのつなぎ込み部は、中間室内及び末端に閉止板を設け、中間室内の空気が隣室へ漏れいすることを防止する。            (2) 耐震評価として、上位波及防止の観点から、第2類の静的地震力によりダクトの応力評価を行う。         </td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td colspan="2">図-16、図-17</td> </tr> </table> <p>図-16、図-17</p>	設備機器名称	主要排気ダクト	区分	台数	一式	気体廃棄物の廃棄設備	設置場所	A中間室、B中間室、発生回収室、搬送通路、管理廃水処理室、修繕室、ホット機械予備品室、前室、排気室、均質室、ホット計器室、ホット電気予備品室、除染室、分析室、モニタエリア、更衣エリア、予備室		設計	臨界管理 放射線防護 耐震 第3類		条件	材料・構造 (温度、圧力) 温度：常温 圧力：		仕様	型式 主要寸法 幅：約150～約3600mm 高さ：約150～約3600mm 呼び径：約350～約500φ 主要材料 炭素鋼（亜鉛鉄板、SS41）		性能	性能 接続材材質の状態		その他	(1) 増設時に対する考慮として、中間室における排気ダクトのつなぎ込みは、接続エリアに集中して管理を行う。 排気ダクトのつなぎ込み部は、中間室内及び末端に閉止板を設け、中間室内の空気が隣室へ漏れいすることを防止する。 (2) 耐震評価として、上位波及防止の観点から、第2類の静的地震力によりダクトの応力評価を行う。		添付図	図-16、図-17		<p>変更後</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>名称<sup>*1</sup></th> <th>設置場所</th> <th>主要材料</th> <th>厚さ</th> <th>外径</th> <th>高さ</th> <th>最大使用温度</th> <th>最大使用圧力</th> <th>名称<sup>*1</sup></th> <th>設置場所</th> <th>主要材料</th> <th>厚さ</th> <th>外径</th> <th>高さ</th> <th>最大使用温度</th> <th>最大使用圧力</th> </tr> <tr> <td>1号排気ダクト（1号均質室用）</td> <td>1号均質室</td> <td>炭素鋼<sup>*6</sup></td> <td>6.6 ～3.2</td> <td>600 × 250 ～1700 φ</td> <td>1700</td> <td>40</td> <td>0.6 ～3.2</td> <td>1号排気ダクト（1号均質室用）</td> <td>1号均質室</td> <td>炭素鋼<sup>*6</sup></td> <td>6.6 ～3.2</td> <td>600 × 250 ～1700 φ</td> <td>1700</td> <td>40</td> <td>0.6 ～3.2</td> </tr> </table> <p>注記            *1：記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。            *2：記載の適正化。既設工認には「材料・構造（温度、圧力）」と記載。            *3：記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。            *4：記載の適正化。既設工認には「主要寸法」と記載。            *5：当該ダクトは、大気圧付近の圧力を使用するダクトであり、その機能及び構造上の耐圧機能を必要としないため、最高使用圧力を設定しない。            *6：既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。            *7：魚ダクトの寸法を示す。            *8：UF<sub>6</sub>を内包する機器ではなく、UF<sub>6</sub>を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。</p>	名称 <sup>*1</sup>	設置場所	主要材料	厚さ	外径	高さ	最大使用温度	最大使用圧力	名称 <sup>*1</sup>	設置場所	主要材料	厚さ	外径	高さ	最大使用温度	最大使用圧力	1号排気ダクト（1号均質室用）	1号均質室	炭素鋼 <sup>*6</sup>	6.6 ～3.2	600 × 250 ～1700 φ	1700	40	0.6 ～3.2	1号排気ダクト（1号均質室用）	1号均質室	炭素鋼 <sup>*6</sup>	6.6 ～3.2	600 × 250 ～1700 φ	1700	40	0.6 ～3.2	<p>【様式-6,7等の整理により機能要求②としたもの】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②等</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>           様式-6,7            【手段：設備】            （設備及び機器の耐震設計）            ・静的設計法            ・波及的影響の考慮            ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計            ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計            ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施         </td> <td>           耐震重要度分類：第〇類            主要寸法：〇〇mm            主要材料：〇〇         </td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td>           【手段：設備】            ・不燃性又は難燃性材料の使用         </td> <td>           主要材料：〇〇         </td> </tr> </table>	技術基準	機能要求②等	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	様式-6,7 【手段：設備】 （設備及び機器の耐震設計） ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類：第〇類 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇	第十一条 火災等による損傷の防止	【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料：〇〇	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">発電炉類似設備要目表</th> </tr> <tr> <td> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>材料</th> <th>厚さ</th> <th>外径</th> <th>高さ</th> <th>最大使用温度</th> <th>最大使用圧力</th> </tr> <tr> <td>炉子排気管</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> <td>30411</td> <td>6.6</td> <td>12.0<sup>**</sup></td> <td>72</td> <td>72</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> </tr> <tr> <td>排気ダクト</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> <td>30411</td> <td>6.6</td> <td>12.0<sup>**</sup></td> <td>72</td> <td>72</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> </tr> <tr> <td>排気管</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> <td>30411</td> <td>6.6</td> <td>12.0<sup>**</sup></td> <td>72</td> <td>72</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> </tr> </table> </td> <td> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>材料</th> <th>厚さ</th> <th>外径</th> <th>高さ</th> <th>最大使用温度</th> <th>最大使用圧力</th> </tr> <tr> <td>炉子排気管</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> <td>30411</td> <td>6.6</td> <td>12.0<sup>**</sup></td> <td>72</td> <td>72</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> </tr> <tr> <td>排気ダクト</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> <td>30411</td> <td>6.6</td> <td>12.0<sup>**</sup></td> <td>72</td> <td>72</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> </tr> <tr> <td>排気管</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> <td>30411</td> <td>6.6</td> <td>12.0<sup>**</sup></td> <td>72</td> <td>72</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> </tr> </table> </td> </tr> </table> <p>※1：JIS規格番号。            ※2：JIS規格に準拠しないもの。            ※3：JIS規格に準拠しないもの。            ※4：JIS規格に準拠しないもの。            ※5：JIS規格に準拠しないもの。            ※6：JIS規格に準拠しないもの。            ※7：JIS規格に準拠しないもの。            ※8：JIS規格に準拠しないもの。            ※9：JIS規格に準拠しないもの。            ※10：JIS規格に準拠しないもの。            ※11：JIS規格に準拠しないもの。            ※12：JIS規格に準拠しないもの。            ※13：JIS規格に準拠しないもの。            ※14：JIS規格に準拠しないもの。            ※15：JIS規格に準拠しないもの。            ※16：JIS規格に準拠しないもの。            ※17：JIS規格に準拠しないもの。            ※18：JIS規格に準拠しないもの。            ※19：JIS規格に準拠しないもの。            ※20：JIS規格に準拠しないもの。            ※21：JIS規格に準拠しないもの。            ※22：JIS規格に準拠しないもの。            ※23：JIS規格に準拠しないもの。            ※24：JIS規格に準拠しないもの。            ※25：JIS規格に準拠しないもの。            ※26：JIS規格に準拠しないもの。            ※27：JIS規格に準拠しないもの。            ※28：JIS規格に準拠しないもの。            ※29：JIS規格に準拠しないもの。            ※30：JIS規格に準拠しないもの。            ※31：JIS規格に準拠しないもの。            ※32：JIS規格に準拠しないもの。            ※33：JIS規格に準拠しないもの。            ※34：JIS規格に準拠しないもの。            ※35：JIS規格に準拠しないもの。            ※36：JIS規格に準拠しないもの。            ※37：JIS規格に準拠しないもの。            ※38：JIS規格に準拠しないもの。            ※39：JIS規格に準拠しないもの。            ※40：JIS規格に準拠しないもの。            ※41：JIS規格に準拠しないもの。            ※42：JIS規格に準拠しないもの。            ※43：JIS規格に準拠しないもの。            ※44：JIS規格に準拠しないもの。            ※45：JIS規格に準拠しないもの。            ※46：JIS規格に準拠しないもの。            ※47：JIS規格に準拠しないもの。            ※48：JIS規格に準拠しないもの。            ※49：JIS規格に準拠しないもの。            ※50：JIS規格に準拠しないもの。            ※51：JIS規格に準拠しないもの。            ※52：JIS規格に準拠しないもの。            ※53：JIS規格に準拠しないもの。            ※54：JIS規格に準拠しないもの。            ※55：JIS規格に準拠しないもの。            ※56：JIS規格に準拠しないもの。            ※57：JIS規格に準拠しないもの。            ※58：JIS規格に準拠しないもの。            ※59：JIS規格に準拠しないもの。            ※60：JIS規格に準拠しないもの。            ※61：JIS規格に準拠しないもの。            ※62：JIS規格に準拠しないもの。            ※63：JIS規格に準拠しないもの。            ※64：JIS規格に準拠しないもの。            ※65：JIS規格に準拠しないもの。            ※66：JIS規格に準拠しないもの。            ※67：JIS規格に準拠しないもの。            ※68：JIS規格に準拠しないもの。            ※69：JIS規格に準拠しないもの。            ※70：JIS規格に準拠しないもの。            ※71：JIS規格に準拠しないもの。            ※72：JIS規格に準拠しないもの。            ※73：JIS規格に準拠しないもの。            ※74：JIS規格に準拠しないもの。            ※75：JIS規格に準拠しないもの。            ※76：JIS規格に準拠しないもの。            ※77：JIS規格に準拠しないもの。            ※78：JIS規格に準拠しないもの。            ※79：JIS規格に準拠しないもの。            ※80：JIS規格に準拠しないもの。            ※81：JIS規格に準拠しないもの。            ※82：JIS規格に準拠しないもの。            ※83：JIS規格に準拠しないもの。            ※84：JIS規格に準拠しないもの。            ※85：JIS規格に準拠しないもの。            ※86：JIS規格に準拠しないもの。            ※87：JIS規格に準拠しないもの。            ※88：JIS規格に準拠しないもの。            ※89：JIS規格に準拠しないもの。            ※90：JIS規格に準拠しないもの。            ※91：JIS規格に準拠しないもの。            ※92：JIS規格に準拠しないもの。            ※93：JIS規格に準拠しないもの。            ※94：JIS規格に準拠しないもの。            ※95：JIS規格に準拠しないもの。            ※96：JIS規格に準拠しないもの。            ※97：JIS規格に準拠しないもの。            ※98：JIS規格に準拠しないもの。            ※99：JIS規格に準拠しないもの。            ※100：JIS規格に準拠しないもの。</p>	発電炉類似設備要目表		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>材料</th> <th>厚さ</th> <th>外径</th> <th>高さ</th> <th>最大使用温度</th> <th>最大使用圧力</th> </tr> <tr> <td>炉子排気管</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> <td>30411</td> <td>6.6</td> <td>12.0<sup>**</sup></td> <td>72</td> <td>72</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> </tr> <tr> <td>排気ダクト</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> <td>30411</td> <td>6.6</td> <td>12.0<sup>**</sup></td> <td>72</td> <td>72</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> </tr> <tr> <td>排気管</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> <td>30411</td> <td>6.6</td> <td>12.0<sup>**</sup></td> <td>72</td> <td>72</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> </tr> </table>	名称	規格	材料	厚さ	外径	高さ	最大使用温度	最大使用圧力	炉子排気管	0.014 <sup>**</sup>	30411	6.6	12.0 <sup>**</sup>	72	72	0.014 <sup>**</sup>	排気ダクト	0.014 <sup>**</sup>	30411	6.6	12.0 <sup>**</sup>	72	72	0.014 <sup>**</sup>	排気管	0.014 <sup>**</sup>	30411	6.6	12.0 <sup>**</sup>	72	72	0.014 <sup>**</sup>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>材料</th> <th>厚さ</th> <th>外径</th> <th>高さ</th> <th>最大使用温度</th> <th>最大使用圧力</th> </tr> <tr> <td>炉子排気管</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> <td>30411</td> <td>6.6</td> <td>12.0<sup>**</sup></td> <td>72</td> <td>72</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> </tr> <tr> <td>排気ダクト</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> <td>30411</td> <td>6.6</td> <td>12.0<sup>**</sup></td> <td>72</td> <td>72</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> </tr> <tr> <td>排気管</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> <td>30411</td> <td>6.6</td> <td>12.0<sup>**</sup></td> <td>72</td> <td>72</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> </tr> </table>	名称	規格	材料	厚さ	外径	高さ	最大使用温度	最大使用圧力	炉子排気管	0.014 <sup>**</sup>	30411	6.6	12.0 <sup>**</sup>	72	72	0.014 <sup>**</sup>	排気ダクト	0.014 <sup>**</sup>	30411	6.6	12.0 <sup>**</sup>	72	72	0.014 <sup>**</sup>	排気管	0.014 <sup>**</sup>	30411	6.6	12.0 <sup>**</sup>	72	72	0.014 <sup>**</sup>	<p>該当しないため、記載を削除。</p> <p>工事における隔離措置として工事の方法に展開。</p> <p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p> <p>加工施設の耐震性に関する説明書に示す。</p>
設備機器名称	主要排気ダクト	区分																																																																																																																																										
台数	一式	気体廃棄物の廃棄設備																																																																																																																																										
設置場所	A中間室、B中間室、発生回収室、搬送通路、管理廃水処理室、修繕室、ホット機械予備品室、前室、排気室、均質室、ホット計器室、ホット電気予備品室、除染室、分析室、モニタエリア、更衣エリア、予備室																																																																																																																																											
設計	臨界管理 放射線防護 耐震 第3類																																																																																																																																											
条件	材料・構造 (温度、圧力) 温度：常温 圧力：																																																																																																																																											
仕様	型式 主要寸法 幅：約150～約3600mm 高さ：約150～約3600mm 呼び径：約350～約500φ 主要材料 炭素鋼（亜鉛鉄板、SS41）																																																																																																																																											
性能	性能 接続材材質の状態																																																																																																																																											
その他	(1) 増設時に対する考慮として、中間室における排気ダクトのつなぎ込みは、接続エリアに集中して管理を行う。 排気ダクトのつなぎ込み部は、中間室内及び末端に閉止板を設け、中間室内の空気が隣室へ漏れいすることを防止する。 (2) 耐震評価として、上位波及防止の観点から、第2類の静的地震力によりダクトの応力評価を行う。																																																																																																																																											
添付図	図-16、図-17																																																																																																																																											
名称 <sup>*1</sup>	設置場所	主要材料	厚さ	外径	高さ	最大使用温度	最大使用圧力	名称 <sup>*1</sup>	設置場所	主要材料	厚さ	外径	高さ	最大使用温度	最大使用圧力																																																																																																																													
1号排気ダクト（1号均質室用）	1号均質室	炭素鋼 <sup>*6</sup>	6.6 ～3.2	600 × 250 ～1700 φ	1700	40	0.6 ～3.2	1号排気ダクト（1号均質室用）	1号均質室	炭素鋼 <sup>*6</sup>	6.6 ～3.2	600 × 250 ～1700 φ	1700	40	0.6 ～3.2																																																																																																																													
技術基準	機能要求②等	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																										
第六条 地震による損傷の防止	様式-6,7 【手段：設備】 （設備及び機器の耐震設計） ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類：第〇類 主要寸法：〇〇mm 主要材料：〇〇																																																																																																																																										
第十一条 火災等による損傷の防止	【手段：設備】 ・不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料：〇〇																																																																																																																																										
発電炉類似設備要目表																																																																																																																																												
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>材料</th> <th>厚さ</th> <th>外径</th> <th>高さ</th> <th>最大使用温度</th> <th>最大使用圧力</th> </tr> <tr> <td>炉子排気管</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> <td>30411</td> <td>6.6</td> <td>12.0<sup>**</sup></td> <td>72</td> <td>72</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> </tr> <tr> <td>排気ダクト</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> <td>30411</td> <td>6.6</td> <td>12.0<sup>**</sup></td> <td>72</td> <td>72</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> </tr> <tr> <td>排気管</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> <td>30411</td> <td>6.6</td> <td>12.0<sup>**</sup></td> <td>72</td> <td>72</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> </tr> </table>	名称	規格	材料	厚さ	外径	高さ	最大使用温度	最大使用圧力	炉子排気管	0.014 <sup>**</sup>	30411	6.6	12.0 <sup>**</sup>	72	72	0.014 <sup>**</sup>	排気ダクト	0.014 <sup>**</sup>	30411	6.6	12.0 <sup>**</sup>	72	72	0.014 <sup>**</sup>	排気管	0.014 <sup>**</sup>	30411	6.6	12.0 <sup>**</sup>	72	72	0.014 <sup>**</sup>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>材料</th> <th>厚さ</th> <th>外径</th> <th>高さ</th> <th>最大使用温度</th> <th>最大使用圧力</th> </tr> <tr> <td>炉子排気管</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> <td>30411</td> <td>6.6</td> <td>12.0<sup>**</sup></td> <td>72</td> <td>72</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> </tr> <tr> <td>排気ダクト</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> <td>30411</td> <td>6.6</td> <td>12.0<sup>**</sup></td> <td>72</td> <td>72</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> </tr> <tr> <td>排気管</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> <td>30411</td> <td>6.6</td> <td>12.0<sup>**</sup></td> <td>72</td> <td>72</td> <td>0.014<sup>**</sup></td> </tr> </table>	名称	規格	材料	厚さ	外径	高さ	最大使用温度	最大使用圧力	炉子排気管	0.014 <sup>**</sup>	30411	6.6	12.0 <sup>**</sup>	72	72	0.014 <sup>**</sup>	排気ダクト	0.014 <sup>**</sup>	30411	6.6	12.0 <sup>**</sup>	72	72	0.014 <sup>**</sup>	排気管	0.014 <sup>**</sup>	30411	6.6	12.0 <sup>**</sup>	72	72	0.014 <sup>**</sup>																																																																											
名称	規格	材料	厚さ	外径	高さ	最大使用温度	最大使用圧力																																																																																																																																					
炉子排気管	0.014 <sup>**</sup>	30411	6.6	12.0 <sup>**</sup>	72	72	0.014 <sup>**</sup>																																																																																																																																					
排気ダクト	0.014 <sup>**</sup>	30411	6.6	12.0 <sup>**</sup>	72	72	0.014 <sup>**</sup>																																																																																																																																					
排気管	0.014 <sup>**</sup>	30411	6.6	12.0 <sup>**</sup>	72	72	0.014 <sup>**</sup>																																																																																																																																					
名称	規格	材料	厚さ	外径	高さ	最大使用温度	最大使用圧力																																																																																																																																					
炉子排気管	0.014 <sup>**</sup>	30411	6.6	12.0 <sup>**</sup>	72	72	0.014 <sup>**</sup>																																																																																																																																					
排気ダクト	0.014 <sup>**</sup>	30411	6.6	12.0 <sup>**</sup>	72	72	0.014 <sup>**</sup>																																																																																																																																					
排気管	0.014 <sup>**</sup>	30411	6.6	12.0 <sup>**</sup>	72	72	0.014 <sup>**</sup>																																																																																																																																					

該当しないため、記載を削除。

主要設備リストで展開。

### 仕様表記載例（機種：フィルタ（1号均質室系排気フィルタユニット））

既認可の仕様表		仕様表案		要求事項の整理		発電炉類似設備要目表		備考																																																																																																																																																																																										
<p>【認可番号：元安（核規）第376号 平成元年8月17日】</p> <p>表-3 気体廃棄物の処理設備の仕様（均質室系排気フィルタユニット）</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>均質室系排気フィルタユニット</td> <td>区分</td> <td>気体廃棄物の処理設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>14基</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>排気室</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>境界管理</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射線防護</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td>第2.類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料・構造（温度、圧力）</td> <td>温度：常温 圧力：-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td>バンク型（プレフィルタ1段、高性能エアフィルタ1段）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>幅：約1600mm 奥行：約730mm 高さ：約1450mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>炭素鋼（電気亜鉛めっき鋼板）（特材）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td>フィルタユニット捕集効率：99.9%以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>核燃料物質の状態</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>プレフィルタ及び高性能エアフィルタの前後の差圧を測定することにより、フィルタの目詰まりを監視する。また、高性能エアフィルタは交換後に捕集効率の測定を行う。プレフィルタ及び高性能エアフィルタは、フィルタユニットに取付けられ、取替えが容易な構造とする。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td>図-3、図-14</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		設備機器名称	均質室系排気フィルタユニット	区分	気体廃棄物の処理設備	台数	14基			設置場所	排気室			境界管理				放射線防護				耐震	第2.類			材料・構造（温度、圧力）	温度：常温 圧力：-			型式	バンク型（プレフィルタ1段、高性能エアフィルタ1段）			主要寸法	幅：約1600mm 奥行：約730mm 高さ：約1450mm			主要材料	炭素鋼（電気亜鉛めっき鋼板）（特材）			性能	フィルタユニット捕集効率：99.9%以上			核燃料物質の状態				その他	プレフィルタ及び高性能エアフィルタの前後の差圧を測定することにより、フィルタの目詰まりを監視する。また、高性能エアフィルタは交換後に捕集効率の測定を行う。プレフィルタ及び高性能エアフィルタは、フィルタユニットに取付けられ、取替えが容易な構造とする。			添付図	図-3、図-14			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称<sup>*1</sup></td> <td>-</td> <td>1号均質室系排気フィルタユニット</td> </tr> <tr> <td>種類<sup>*2</sup></td> <td>-</td> <td>バンク型（プレフィルタ1段、高性能エアフィルタ1段）</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup>/h/基</td> <td>6000<sup>*8</sup></td> </tr> <tr> <td>効率（捕集効率）<sup>*5</sup></td> <td>%</td> <td>99.9以上</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力<sup>*4</sup></td> <td>-</td> <td>-<sup>*9</sup></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度<sup>*4</sup></td> <td>℃</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>流体等の種類<sup>*6</sup></td> <td>-</td> <td>排ガス<sup>*8</sup></td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>730</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1660</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1450</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>筐体</td> <td>-</td> <td>炭素鋼<sup>*10</sup></td> </tr> <tr> <td>ろ材</td> <td>-</td> <td>グラスウール<sup>*10</sup></td> </tr> <tr> <td>個数<sup>*6</sup></td> <td>基</td> <td>14（内予備1）</td> </tr> <tr> <td>系統名（ライン名）</td> <td>-</td> <td>1号均質室系<sup>*8</sup></td> </tr> <tr> <td>設置床（室名称）<sup>*7</sup></td> <td>-</td> <td>排気室</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-<sup>*11</sup></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>mm</td> <td>-<sup>*12</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。  *2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。  *3：記載の適正化。既設工認には「性能」と記載。  *4：記載の適正化。既設工認には「材料・構造（温度、圧力）」と記載。  *5：記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。  *6：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。  *7：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。  *8：既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。  *9：本機器は、大気圧付近の圧力で使用するフィルタユニットであり、その機能及び構造上の耐圧機能を必要としないため、最高圧力を設定しない。  *10：UF<sub>6</sub>を内包する機器ではなく、UF<sub>6</sub>を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。  *11：溢水防護上の区画番号を設定していないことから「-」とする。  *12：溢水が滞留しない排気室に設置することから溢水防護上の配慮が必要な高さは「-」とする。</p>			変更前	変更後	名称 <sup>*1</sup>	-	1号均質室系排気フィルタユニット	種類 <sup>*2</sup>	-	バンク型（プレフィルタ1段、高性能エアフィルタ1段）	容量	m <sup>3</sup> /h/基	6000 <sup>*8</sup>	効率（捕集効率） <sup>*5</sup>	%	99.9以上	最高使用圧力 <sup>*4</sup>	-	- <sup>*9</sup>	最高使用温度 <sup>*4</sup>	℃	40	流体等の種類 <sup>*6</sup>	-	排ガス <sup>*8</sup>	主要寸法			たて	mm	730	横	mm	1660	高さ	mm	1450	主要材料			筐体	-	炭素鋼 <sup>*10</sup>	ろ材	-	グラスウール <sup>*10</sup>	個数 <sup>*6</sup>	基	14（内予備1）	系統名（ライン名）	-	1号均質室系 <sup>*8</sup>	設置床（室名称） <sup>*7</sup>	-	排気室	溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*11</sup>	溢水防護上の配慮が必要な高さ	mm	- <sup>*12</sup>	<p>【様式-6,7等の整理により機能要求②としたもの】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6,7</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td>【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・耐構造を基本とし、非耐構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施</td> <td>耐震重要度分類：第0類 主要寸法：00mm 主要材料：00</td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td>【手段：設備】 不燃性又は難燃性材料の使用</td> <td>主要材料：00</td> </tr> <tr> <td>第十二条 溢水による損傷の防止</td> <td>【手段：設備】 ・負圧維持（排気機、排気フィルタの改水防止）</td> <td>溢水防護上の必要高さ：- (溢水が滞留しない排気室に設置することで高さ設定をしない)</td> </tr> <tr> <td>第二十条 廃棄施設</td> <td>【手段：設備】 ・気体廃棄物の周辺監視区域外の空気中の放射性物質の濃度を十分に低減できる能力を有する設計</td> <td>効率（捕集効率）：00%</td> </tr> </tbody> </table>		技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・耐構造を基本とし、非耐構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類：第0類 主要寸法：00mm 主要材料：00	第十一条 火災等による損傷の防止	【手段：設備】 不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料：00	第十二条 溢水による損傷の防止	【手段：設備】 ・負圧維持（排気機、排気フィルタの改水防止）	溢水防護上の必要高さ：- (溢水が滞留しない排気室に設置することで高さ設定をしない)	第二十条 廃棄施設	【手段：設備】 ・気体廃棄物の周辺監視区域外の空気中の放射性物質の濃度を十分に低減できる能力を有する設計	効率（捕集効率）：00%	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td></td> <td>緊急時対策所非常用フィルタ装置（00, 00発電所共用）</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td></td> <td>-</td> <td>高性能粒子フィルタ よう素用チャコールフィルタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">効率</td> <td rowspan="2">単体</td> <td>高性能粒子フィルタ</td> <td>99.97以上 (0.15μm以上の粒子に対して)</td> </tr> <tr> <td>よう素用チャコールフィルタ</td> <td>99.75以上 (相対湿度70%以下、温度10℃以下において)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>高性能粒子フィルタ</td> <td>99.99以上 (0.5μm粒子)</td> </tr> <tr> <td>よう素用チャコールフィルタ</td> <td>99.99以上 (相対湿度70%, 温度10℃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要寸法</td> <td>吸込口径</td> <td>mm</td> <td>355.6*</td> </tr> <tr> <td>吐出口径</td> <td>mm</td> <td>355.6*</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1500*</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>7700*</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">取付箇所</td> <td>系統名（ライン名）</td> <td>-</td> <td>緊急時対策所非常用フィルタ装置A 緊急時対策所換気系</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td></td> <td>緊急時対策所 EL. 37.00m</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>EM-3-1</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>-</td> <td>EL. 37.10m</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>緊急時対策所非常用フィルタ装置B 緊急時対策所換気系</td> </tr> </tbody> </table>				変更前	変更後	名称			緊急時対策所非常用フィルタ装置（00, 00発電所共用）	種類		-	高性能粒子フィルタ よう素用チャコールフィルタ	効率	単体	高性能粒子フィルタ	99.97以上 (0.15μm以上の粒子に対して)	よう素用チャコールフィルタ	99.75以上 (相対湿度70%以下、温度10℃以下において)	総合	高性能粒子フィルタ	99.99以上 (0.5μm粒子)	よう素用チャコールフィルタ	99.99以上 (相対湿度70%, 温度10℃)	主要寸法	吸込口径	mm	355.6*	吐出口径	mm	355.6*	たて	mm	1500*	高さ	mm	7700*	個数	-	2	取付箇所	系統名（ライン名）	-	緊急時対策所非常用フィルタ装置A 緊急時対策所換気系	設置床		緊急時対策所 EL. 37.00m	溢水防護上の区画番号	-	EM-3-1	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	EL. 37.10m			緊急時対策所非常用フィルタ装置B 緊急時対策所換気系	<p>強度評価等の対象外の機器であるため、口径は記載していない。</p>
設備機器名称	均質室系排気フィルタユニット	区分	気体廃棄物の処理設備																																																																																																																																																																																															
台数	14基																																																																																																																																																																																																	
設置場所	排気室																																																																																																																																																																																																	
境界管理																																																																																																																																																																																																		
放射線防護																																																																																																																																																																																																		
耐震	第2.類																																																																																																																																																																																																	
材料・構造（温度、圧力）	温度：常温 圧力：-																																																																																																																																																																																																	
型式	バンク型（プレフィルタ1段、高性能エアフィルタ1段）																																																																																																																																																																																																	
主要寸法	幅：約1600mm 奥行：約730mm 高さ：約1450mm																																																																																																																																																																																																	
主要材料	炭素鋼（電気亜鉛めっき鋼板）（特材）																																																																																																																																																																																																	
性能	フィルタユニット捕集効率：99.9%以上																																																																																																																																																																																																	
核燃料物質の状態																																																																																																																																																																																																		
その他	プレフィルタ及び高性能エアフィルタの前後の差圧を測定することにより、フィルタの目詰まりを監視する。また、高性能エアフィルタは交換後に捕集効率の測定を行う。プレフィルタ及び高性能エアフィルタは、フィルタユニットに取付けられ、取替えが容易な構造とする。																																																																																																																																																																																																	
添付図	図-3、図-14																																																																																																																																																																																																	
	変更前	変更後																																																																																																																																																																																																
名称 <sup>*1</sup>	-	1号均質室系排気フィルタユニット																																																																																																																																																																																																
種類 <sup>*2</sup>	-	バンク型（プレフィルタ1段、高性能エアフィルタ1段）																																																																																																																																																																																																
容量	m <sup>3</sup> /h/基	6000 <sup>*8</sup>																																																																																																																																																																																																
効率（捕集効率） <sup>*5</sup>	%	99.9以上																																																																																																																																																																																																
最高使用圧力 <sup>*4</sup>	-	- <sup>*9</sup>																																																																																																																																																																																																
最高使用温度 <sup>*4</sup>	℃	40																																																																																																																																																																																																
流体等の種類 <sup>*6</sup>	-	排ガス <sup>*8</sup>																																																																																																																																																																																																
主要寸法																																																																																																																																																																																																		
たて	mm	730																																																																																																																																																																																																
横	mm	1660																																																																																																																																																																																																
高さ	mm	1450																																																																																																																																																																																																
主要材料																																																																																																																																																																																																		
筐体	-	炭素鋼 <sup>*10</sup>																																																																																																																																																																																																
ろ材	-	グラスウール <sup>*10</sup>																																																																																																																																																																																																
個数 <sup>*6</sup>	基	14（内予備1）																																																																																																																																																																																																
系統名（ライン名）	-	1号均質室系 <sup>*8</sup>																																																																																																																																																																																																
設置床（室名称） <sup>*7</sup>	-	排気室																																																																																																																																																																																																
溢水防護上の区画番号	-	- <sup>*11</sup>																																																																																																																																																																																																
溢水防護上の配慮が必要な高さ	mm	- <sup>*12</sup>																																																																																																																																																																																																
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																																																
第六条 地震による損傷の防止	【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・耐構造を基本とし、非耐構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類：第0類 主要寸法：00mm 主要材料：00																																																																																																																																																																																																
第十一条 火災等による損傷の防止	【手段：設備】 不燃性又は難燃性材料の使用	主要材料：00																																																																																																																																																																																																
第十二条 溢水による損傷の防止	【手段：設備】 ・負圧維持（排気機、排気フィルタの改水防止）	溢水防護上の必要高さ：- (溢水が滞留しない排気室に設置することで高さ設定をしない)																																																																																																																																																																																																
第二十条 廃棄施設	【手段：設備】 ・気体廃棄物の周辺監視区域外の空気中の放射性物質の濃度を十分に低減できる能力を有する設計	効率（捕集効率）：00%																																																																																																																																																																																																
		変更前	変更後																																																																																																																																																																																															
名称			緊急時対策所非常用フィルタ装置（00, 00発電所共用）																																																																																																																																																																																															
種類		-	高性能粒子フィルタ よう素用チャコールフィルタ																																																																																																																																																																																															
効率	単体	高性能粒子フィルタ	99.97以上 (0.15μm以上の粒子に対して)																																																																																																																																																																																															
		よう素用チャコールフィルタ	99.75以上 (相対湿度70%以下、温度10℃以下において)																																																																																																																																																																																															
	総合	高性能粒子フィルタ	99.99以上 (0.5μm粒子)																																																																																																																																																																																															
		よう素用チャコールフィルタ	99.99以上 (相対湿度70%, 温度10℃)																																																																																																																																																																																															
主要寸法	吸込口径	mm	355.6*																																																																																																																																																																																															
	吐出口径	mm	355.6*																																																																																																																																																																																															
	たて	mm	1500*																																																																																																																																																																																															
	高さ	mm	7700*																																																																																																																																																																																															
	個数	-	2																																																																																																																																																																																															
取付箇所	系統名（ライン名）	-	緊急時対策所非常用フィルタ装置A 緊急時対策所換気系																																																																																																																																																																																															
	設置床		緊急時対策所 EL. 37.00m																																																																																																																																																																																															
	溢水防護上の区画番号	-	EM-3-1																																																																																																																																																																																															
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	-	EL. 37.10m																																																																																																																																																																																															
			緊急時対策所非常用フィルタ装置B 緊急時対策所換気系																																																																																																																																																																																															
<p>基本設計方針で展開。</p>																																																																																																																																																																																																		
<p>添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除</p>																																																																																																																																																																																																		



該当しないため、記載を削除。

主要設備リストで展開。

仕様表記載例（機種：無停電電源装置（2号無停電電源装置））

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																																																																																																																																									
<p>【認可番号：平成6年12月15日付け 6安（核規）第665号】</p> <p>表-1 非常用設備の仕様（2号無停電電源装置）</p> <table border="1"> <tr> <td>設備機器名称</td> <td>2号無停電電源装置</td> <td>区分</td> <td>非常用電源設備</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>4台</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>非常用電源室</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震</td> <td>第2類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料・構造</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td colspan="3">CVC型インバータ（容量：60kVA/台）</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td colspan="3">幅：5230mm 奥行：1000mm 高さ：1950mm</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td colspan="3">炭素鋼（S400）（鋼材）</td> </tr> <tr> <td>性能</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>設置材料物の状態</td> <td colspan="3">2号無停電電源装置は、外部電源瞬時電圧降下時又は外部電源喪失時に、安全上必要な制御回路等に連結して電力を供給する。</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>添付図</td> <td colspan="3">図-1、図-5、図-9、図-10</td> </tr> </table>	設備機器名称	2号無停電電源装置	区分	非常用電源設備	台数	4台			設置場所	非常用電源室			設計				耐震	第2類			材料・構造				型式	CVC型インバータ（容量：60kVA/台）			主要寸法	幅：5230mm 奥行：1000mm 高さ：1950mm			主要材料	炭素鋼（S400）（鋼材）			性能				設置材料物の状態	2号無停電電源装置は、外部電源瞬時電圧降下時又は外部電源喪失時に、安全上必要な制御回路等に連結して電力を供給する。			その他				添付図	図-1、図-5、図-9、図-10			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称<sup>※1</sup></td> <td>—</td> <td>2号無停電電源装置（A-1、A-2）<sup>※2</sup> インバータ盤</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>種類<sup>※3</sup></td> <td>—</td> <td>出力切替盤</td> <td>蓄電池盤（鉛蓄電池（セル数：180））</td> </tr> <tr> <td>容量<sup>※4</sup></td> <td></td> <td>—<sup>※5</sup></td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>インバータ盤</td> <td>kVA/台</td> <td>60</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>蓄電池盤</td> <td>Ah/10hr/基</td> <td>—<sup>※6</sup></td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td>420<sup>※6</sup></td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>Hz</td> <td>50<sup>※6</sup></td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主要寸法</td> <td rowspan="3">インバータ盤</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1800</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1950</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">出力切替盤</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1600</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1950</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">蓄電池盤</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3800</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1950</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>インバータ盤</td> <td>—</td> <td>炭素鋼<sup>※7</sup></td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>出力切替盤</td> <td>—</td> <td>—<sup>※8</sup></td> <td>炭素鋼<sup>※8</sup></td> </tr> <tr> <td>蓄電池盤</td> <td>—</td> <td>—<sup>※9</sup></td> <td>炭素鋼<sup>※9</sup></td> </tr> <tr> <td>個数<sup>※10</sup></td> <td>台</td> <td>2</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>系統名（ライン名）</td> <td>—</td> <td>非常用電源系</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>設置床（室名称）<sup>※11</sup></td> <td>—</td> <td>非常用電源室</td> <td>非常用電源室 非常用電源室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記          *1：記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。          *2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。          *3：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。          *4：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。          *5：既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。          *6：新設機器であるため「—」とする。          *7：UF<sub>0</sub>を内包する機器ではなく、UF<sub>0</sub>を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。</p> <p>【補足説明】          既認可においては、A-1、A-2、B-1、B-2で一つの仕様表としており、台数は4台。今回の申請においては、A-1、A-2とB-1、B-2で仕様表を分けるため台数はそれぞれ2台となる。</p>			変更前	変更後	名称 <sup>※1</sup>	—	2号無停電電源装置（A-1、A-2） <sup>※2</sup> インバータ盤	変更なし	種類 <sup>※3</sup>	—	出力切替盤	蓄電池盤（鉛蓄電池（セル数：180））	容量 <sup>※4</sup>		— <sup>※5</sup>	300	インバータ盤	kVA/台	60	変更なし	蓄電池盤	Ah/10hr/基	— <sup>※6</sup>	300	電圧	V	420 <sup>※6</sup>	変更なし	周波数	Hz	50 <sup>※6</sup>	変更なし	主要寸法	インバータ盤	たて	mm	800	横	mm	1800	高さ	mm	1950	出力切替盤	たて	mm	800	横	mm	1600	高さ	mm	1950	蓄電池盤	たて	mm	900	横	mm	3800	高さ	mm	1950	主要材料				インバータ盤	—	炭素鋼 <sup>※7</sup>	変更なし	出力切替盤	—	— <sup>※8</sup>	炭素鋼 <sup>※8</sup>	蓄電池盤	—	— <sup>※9</sup>	炭素鋼 <sup>※9</sup>	個数 <sup>※10</sup>	台	2	変更なし	系統名（ライン名）	—	非常用電源系	変更なし	設置床（室名称） <sup>※11</sup>	—	非常用電源室	非常用電源室 非常用電源室	<p>【様式-6,7等の整理により機能要求②としたもの】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求② 様式-6,7</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第六条 地震による損傷の防止</td> <td> <p>【手段：設備】 （設備及び機器の耐震設計）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>静的設計法</li> <li>波及的影響の考慮</li> <li>上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計</li> <li>剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計</li> <li>耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施</li> </ul> </td> <td> <p>耐震重要度分類：第0類</p> <p>主要寸法：○○mm</p> <p>主要材料：○○</p> </td> </tr> <tr> <td>第十一条 火災等による損傷の防止</td> <td> <p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不燃性又は難燃性材料の使用</li> </ul> </td> <td> <p>主要材料：○○</p> </td> </tr> <tr> <td>第二十四条 非常用電源設備</td> <td> <p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部電源瞬時電圧降下時や外部電源喪失時に、連続して必要な設備に電力を供給できる設計</li> </ul> </td> <td> <p>容量：○○</p> <p>電圧：○○V</p> <p>周波数：○○Hz</p> </td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)	第六条 地震による損傷の防止	<p>【手段：設備】 （設備及び機器の耐震設計）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>静的設計法</li> <li>波及的影響の考慮</li> <li>上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計</li> <li>剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計</li> <li>耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施</li> </ul>	<p>耐震重要度分類：第0類</p> <p>主要寸法：○○mm</p> <p>主要材料：○○</p>	第十一条 火災等による損傷の防止	<p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不燃性又は難燃性材料の使用</li> </ul>	<p>主要材料：○○</p>	第二十四条 非常用電源設備	<p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部電源瞬時電圧降下時や外部電源喪失時に、連続して必要な設備に電力を供給できる設計</li> </ul>	<p>容量：○○</p> <p>電圧：○○V</p> <p>周波数：○○Hz</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>—</td> <td colspan="2">非常用無停電電源装置</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td colspan="2">静止形定電圧定周波数電源装置</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>kVA/個</td> <td colspan="2">35</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電圧</td> <td>入力</td> <td>V</td> <td>交流440</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>V</td> <td>直流125</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">周波数</td> <td>入力</td> <td>Hz</td> <td>交流120</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>Hz</td> <td>50及び直流</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1300*</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高さ</td> <td>mm</td> <td>3200*</td> </tr> <tr> <td>mm</td> <td>2300*</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td colspan="2">2</td> </tr> <tr> <td>系統名（ライン名）</td> <td>—</td> <td>非常用無停電電源装置A</td> <td>非常用無停電電源装置B</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>EL. 8.20 m</td> <td>EL. 8.20 m</td> </tr> <tr> <td>図面番号</td> <td>—</td> <td>CS-1-3</td> <td>CS-1-3</td> </tr> <tr> <td>配線が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>EL. 8.20 m以上</td> <td>EL. 8.20 m以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *：公称値を示す。</p>			変更前	変更後	名称	—	非常用無停電電源装置		種類	—	静止形定電圧定周波数電源装置		容量	kVA/個	35		電圧	入力	V	交流440	出力	V	直流125	周波数	入力	Hz	交流120	出力	Hz	50及び直流	主要寸法	たて	mm	50	横	mm	1300*	高さ	mm	3200*	mm	2300*	個数	—	2		系統名（ライン名）	—	非常用無停電電源装置A	非常用無停電電源装置B	設置床	—	EL. 8.20 m	EL. 8.20 m	図面番号	—	CS-1-3	CS-1-3	配線が必要な高さ	—	EL. 8.20 m以上	EL. 8.20 m以上	<p>溢水評価の対象外の機器であるため、溢水に係る項目（系統名、区画等）は記載していない。</p>
設備機器名称	2号無停電電源装置	区分	非常用電源設備																																																																																																																																																																																																																										
台数	4台																																																																																																																																																																																																																												
設置場所	非常用電源室																																																																																																																																																																																																																												
設計																																																																																																																																																																																																																													
耐震	第2類																																																																																																																																																																																																																												
材料・構造																																																																																																																																																																																																																													
型式	CVC型インバータ（容量：60kVA/台）																																																																																																																																																																																																																												
主要寸法	幅：5230mm 奥行：1000mm 高さ：1950mm																																																																																																																																																																																																																												
主要材料	炭素鋼（S400）（鋼材）																																																																																																																																																																																																																												
性能																																																																																																																																																																																																																													
設置材料物の状態	2号無停電電源装置は、外部電源瞬時電圧降下時又は外部電源喪失時に、安全上必要な制御回路等に連結して電力を供給する。																																																																																																																																																																																																																												
その他																																																																																																																																																																																																																													
添付図	図-1、図-5、図-9、図-10																																																																																																																																																																																																																												
		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																										
名称 <sup>※1</sup>	—	2号無停電電源装置（A-1、A-2） <sup>※2</sup> インバータ盤	変更なし																																																																																																																																																																																																																										
種類 <sup>※3</sup>	—	出力切替盤	蓄電池盤（鉛蓄電池（セル数：180））																																																																																																																																																																																																																										
容量 <sup>※4</sup>		— <sup>※5</sup>	300																																																																																																																																																																																																																										
インバータ盤	kVA/台	60	変更なし																																																																																																																																																																																																																										
蓄電池盤	Ah/10hr/基	— <sup>※6</sup>	300																																																																																																																																																																																																																										
電圧	V	420 <sup>※6</sup>	変更なし																																																																																																																																																																																																																										
周波数	Hz	50 <sup>※6</sup>	変更なし																																																																																																																																																																																																																										
主要寸法	インバータ盤	たて	mm	800																																																																																																																																																																																																																									
		横	mm	1800																																																																																																																																																																																																																									
		高さ	mm	1950																																																																																																																																																																																																																									
	出力切替盤	たて	mm	800																																																																																																																																																																																																																									
		横	mm	1600																																																																																																																																																																																																																									
		高さ	mm	1950																																																																																																																																																																																																																									
蓄電池盤	たて	mm	900																																																																																																																																																																																																																										
	横	mm	3800																																																																																																																																																																																																																										
	高さ	mm	1950																																																																																																																																																																																																																										
主要材料																																																																																																																																																																																																																													
インバータ盤	—	炭素鋼 <sup>※7</sup>	変更なし																																																																																																																																																																																																																										
出力切替盤	—	— <sup>※8</sup>	炭素鋼 <sup>※8</sup>																																																																																																																																																																																																																										
蓄電池盤	—	— <sup>※9</sup>	炭素鋼 <sup>※9</sup>																																																																																																																																																																																																																										
個数 <sup>※10</sup>	台	2	変更なし																																																																																																																																																																																																																										
系統名（ライン名）	—	非常用電源系	変更なし																																																																																																																																																																																																																										
設置床（室名称） <sup>※11</sup>	—	非常用電源室	非常用電源室 非常用電源室																																																																																																																																																																																																																										
技術基準	機能要求② 様式-6,7	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																																																																																																																																											
第六条 地震による損傷の防止	<p>【手段：設備】 （設備及び機器の耐震設計）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>静的設計法</li> <li>波及的影響の考慮</li> <li>上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計</li> <li>剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計</li> <li>耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施</li> </ul>	<p>耐震重要度分類：第0類</p> <p>主要寸法：○○mm</p> <p>主要材料：○○</p>																																																																																																																																																																																																																											
第十一条 火災等による損傷の防止	<p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不燃性又は難燃性材料の使用</li> </ul>	<p>主要材料：○○</p>																																																																																																																																																																																																																											
第二十四条 非常用電源設備	<p>【手段：設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部電源瞬時電圧降下時や外部電源喪失時に、連続して必要な設備に電力を供給できる設計</li> </ul>	<p>容量：○○</p> <p>電圧：○○V</p> <p>周波数：○○Hz</p>																																																																																																																																																																																																																											
		変更前	変更後																																																																																																																																																																																																																										
名称	—	非常用無停電電源装置																																																																																																																																																																																																																											
種類	—	静止形定電圧定周波数電源装置																																																																																																																																																																																																																											
容量	kVA/個	35																																																																																																																																																																																																																											
電圧	入力	V	交流440																																																																																																																																																																																																																										
	出力	V	直流125																																																																																																																																																																																																																										
周波数	入力	Hz	交流120																																																																																																																																																																																																																										
	出力	Hz	50及び直流																																																																																																																																																																																																																										
主要寸法	たて	mm	50																																																																																																																																																																																																																										
	横	mm	1300*																																																																																																																																																																																																																										
高さ	mm	3200*																																																																																																																																																																																																																											
	mm	2300*																																																																																																																																																																																																																											
個数	—	2																																																																																																																																																																																																																											
系統名（ライン名）	—	非常用無停電電源装置A	非常用無停電電源装置B																																																																																																																																																																																																																										
設置床	—	EL. 8.20 m	EL. 8.20 m																																																																																																																																																																																																																										
図面番号	—	CS-1-3	CS-1-3																																																																																																																																																																																																																										
配線が必要な高さ	—	EL. 8.20 m以上	EL. 8.20 m以上																																																																																																																																																																																																																										

該当しないため、記載を削除。

基本設計方針で展開。

添付書類に位置付けを変更したため、記載を削除

仕様表記載例（機種：放管設備（モニタリングポスト））

既認可の仕様表	仕様表案	要求事項の整理	発電炉類似設備要目表	備考																																																																																																	
<p>【既認可仕様表の該当無し】</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>—</td> <td>モニタリングポスト</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>台</td> <td>3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td>NaI(Tl)シンチレーション</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td>電離箱</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計測範囲</td> <td>NaI(Tl)シンチレーション</td> <td><math>\mu</math> Gy/h</td> <td><math>10^{-2} \sim 10^1</math></td> </tr> <tr> <td>電離箱</td> <td><math>\mu</math> Gy/h</td> <td><math>10^0 \sim 10^5</math></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">警報動作範囲</td> <td>NaI(Tl)シンチレーション</td> <td><math>\mu</math> Gy/h</td> <td><math>10^{-2} \sim 10^1</math></td> </tr> <tr> <td>電離箱</td> <td><math>\mu</math> Gy/h</td> <td><math>10^0 \sim 10^5</math></td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>系統名（ライン名）</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設置床（室名称）</td> <td>—</td> <td>周辺監視区域境界付近</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：既設工認には記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は設計図書による。 *2：本機器は、廃棄物埋設施設と共用（計測値のみ）する。 *3：系統区別を必要としないため「—」とする。</p>			変更前	変更後	名称	—	モニタリングポスト	—	個数	台	3	—	検出器の種類	—	NaI(Tl)シンチレーション	—		—	電離箱	—	計測範囲	NaI(Tl)シンチレーション	$\mu$ Gy/h	$10^{-2} \sim 10^1$	電離箱	$\mu$ Gy/h	$10^0 \sim 10^5$	警報動作範囲	NaI(Tl)シンチレーション	$\mu$ Gy/h	$10^{-2} \sim 10^1$	電離箱	$\mu$ Gy/h	$10^0 \sim 10^5$	取付箇所	系統名（ライン名）	—	—		設置床（室名称）	—	周辺監視区域境界付近	<p>【様式-6,7等の整理により機能要求②としたもの】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>技術基準</th> <th>機能要求②</th> <th>主な仕様 (詳細設計)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>様式-6,7</td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第六条 地震による 損傷の 防止</td> <td>【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施</td> <td>耐震重要度分類：第〇類</td> </tr> <tr> <td>第十八条 警報設備</td> <td>【手段：設備】 ・測定値は、中央制御室において表示し、監視及び記録するとともに、あらかじめ設定した値を超えたときは中央制御室において警報を発する。モニタリングポストの測定値は、緊急時対策所（事業部対策本部室）においても表示する。</td> <td>検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇 <math>\mu</math> Gy/h 警報動作範囲：〇〇</td> </tr> <tr> <td>第十九条 放射線管 理施設</td> <td>【手段：設備】 ・周辺監視区域境界付近に外部放射線に係る線量当量、空間線量率及び空気中の放射性物質の濃度の測定 ・測定値は、中央制御室において表示し、監視及び記録するとともに、あらかじめ設定した値を超えたときは中央制御室において警報を発する。モニタリングポストの測定値は、緊急時対策所（事業部対策本部室）においても表示する。</td> <td>検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇 <math>\mu</math> Gy/h 警報動作範囲：〇〇</td> </tr> </tbody> </table>	技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)		様式-6,7		第六条 地震による 損傷の 防止	【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類：第〇類	第十八条 警報設備	【手段：設備】 ・測定値は、中央制御室において表示し、監視及び記録するとともに、あらかじめ設定した値を超えたときは中央制御室において警報を発する。モニタリングポストの測定値は、緊急時対策所（事業部対策本部室）においても表示する。	検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇 $\mu$ Gy/h 警報動作範囲：〇〇	第十九条 放射線管 理施設	【手段：設備】 ・周辺監視区域境界付近に外部放射線に係る線量当量、空間線量率及び空気中の放射性物質の濃度の測定 ・測定値は、中央制御室において表示し、監視及び記録するとともに、あらかじめ設定した値を超えたときは中央制御室において警報を発する。モニタリングポストの測定値は、緊急時対策所（事業部対策本部室）においても表示する。	検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇 $\mu$ Gy/h 警報動作範囲：〇〇	<p>(3) 固定式周辺モニタリング設備の名称、検出器の種類、計測範囲、取付箇所（監視・記録の場所を付記すること。）及び個数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>—</td> <td>モニタリング・ポスト（東海、東海第二発電所共用）*1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td>シンチレーション*2</td> <td>電離箱*2</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>—</td> <td><math>10^1 \sim 10^5</math> nGy/h</td> <td><math>10^{-2} \sim 10^1</math> Gy/h</td> </tr> <tr> <td>警報動作範囲</td> <td>—</td> <td><math>10^1 \sim 10^5</math> nGy/h*3</td> <td><math>10^{-2} \sim 10^1</math> Gy/h*3</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>系統名（ライン名）</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設置床</td> <td>—</td> <td>屋外 EL約4 m, EL約8m, EL約17 m, EL約23 m 発電所周辺監視区域境界付近 (監視・記録は中央制御室)*4</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td>4*4*5</td> <td>4*4*5</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「モニタリングポスト（東海発電所と共用）」と記載。 *2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「シンチレーション及び電離箱」と記載。 *3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「計測範囲内で可変」と記載。 *4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「発電所周辺監視区域境界付近に4箇所設置（監視・記録は中央制御室にて行う）」と記載。 *5：モニタリング・ポストは4箇所あり、モニタリング・ポスト1箇所あたりの検出器の個数は「1」である。</p>			変更前	変更後	名称	—	モニタリング・ポスト（東海、東海第二発電所共用）*1	—	検出器の種類	—	シンチレーション*2	電離箱*2	計測範囲	—	$10^1 \sim 10^5$ nGy/h	$10^{-2} \sim 10^1$ Gy/h	警報動作範囲	—	$10^1 \sim 10^5$ nGy/h*3	$10^{-2} \sim 10^1$ Gy/h*3	取付箇所	系統名（ライン名）	—	—		設置床	—	屋外 EL約4 m, EL約8m, EL約17 m, EL約23 m 発電所周辺監視区域境界付近 (監視・記録は中央制御室)*4	溢水防護上の 区画番号	—	—	—	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	—	個数	—	4*4*5	4*4*5	<p>溢水評価の対象外の機器であるため、溢水に係る項目（系統名、区画等）は記載していない。</p>
		変更前	変更後																																																																																																		
名称	—	モニタリングポスト	—																																																																																																		
個数	台	3	—																																																																																																		
検出器の種類	—	NaI(Tl)シンチレーション	—																																																																																																		
	—	電離箱	—																																																																																																		
計測範囲	NaI(Tl)シンチレーション	$\mu$ Gy/h	$10^{-2} \sim 10^1$																																																																																																		
	電離箱	$\mu$ Gy/h	$10^0 \sim 10^5$																																																																																																		
警報動作範囲	NaI(Tl)シンチレーション	$\mu$ Gy/h	$10^{-2} \sim 10^1$																																																																																																		
	電離箱	$\mu$ Gy/h	$10^0 \sim 10^5$																																																																																																		
取付箇所	系統名（ライン名）	—	—																																																																																																		
	設置床（室名称）	—	周辺監視区域境界付近																																																																																																		
技術基準	機能要求②	主な仕様 (詳細設計)																																																																																																			
	様式-6,7																																																																																																				
第六条 地震による 損傷の 防止	【手段：設備】 (設備及び機器の耐震設計) ・静的設計法 ・波及的影響の考慮 ・上位分類と一体設計が必要な場合は、上位分類で設計 ・剛構造を基本とし、非剛構造は適切な方法で設計 ・耐震重要度分類に応じた一次設計、二次設計の実施	耐震重要度分類：第〇類																																																																																																			
第十八条 警報設備	【手段：設備】 ・測定値は、中央制御室において表示し、監視及び記録するとともに、あらかじめ設定した値を超えたときは中央制御室において警報を発する。モニタリングポストの測定値は、緊急時対策所（事業部対策本部室）においても表示する。	検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇 $\mu$ Gy/h 警報動作範囲：〇〇																																																																																																			
第十九条 放射線管 理施設	【手段：設備】 ・周辺監視区域境界付近に外部放射線に係る線量当量、空間線量率及び空気中の放射性物質の濃度の測定 ・測定値は、中央制御室において表示し、監視及び記録するとともに、あらかじめ設定した値を超えたときは中央制御室において警報を発する。モニタリングポストの測定値は、緊急時対策所（事業部対策本部室）においても表示する。	検出器の種類：〇〇 計測範囲：〇〇 $\mu$ Gy/h 警報動作範囲：〇〇																																																																																																			
		変更前	変更後																																																																																																		
名称	—	モニタリング・ポスト（東海、東海第二発電所共用）*1	—																																																																																																		
検出器の種類	—	シンチレーション*2	電離箱*2																																																																																																		
計測範囲	—	$10^1 \sim 10^5$ nGy/h	$10^{-2} \sim 10^1$ Gy/h																																																																																																		
警報動作範囲	—	$10^1 \sim 10^5$ nGy/h*3	$10^{-2} \sim 10^1$ Gy/h*3																																																																																																		
取付箇所	系統名（ライン名）	—	—																																																																																																		
	設置床	—	屋外 EL約4 m, EL約8m, EL約17 m, EL約23 m 発電所周辺監視区域境界付近 (監視・記録は中央制御室)*4																																																																																																		
溢水防護上の 区画番号	—	—	—																																																																																																		
溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	—																																																																																																		
個数	—	4*4*5	4*4*5																																																																																																		







## 別紙 2

インターロックに係る仕様表の  
示し方、関連性の整理

## 1. 概要

発電炉の要目表の記載等を踏まえ、加工施設の設工認の仕様表におけるインターロック及び計測装置についての示し方、関連性を以下のとおり整理した。

## 2. 記載方針

### (1) 発電炉を踏まえた加工施設におけるインターロックと計測装置の示し方

○発電炉の要目表の記載を踏まえ、計測装置（検出器）だけでなく、インターロックの仕様表も作成する。(表－1 ①参照)

○発電炉は、施設の安全確保上重要なもの（原子炉非常停止信号及び工学的安全施設等の起動信号）のみを要目表の対象とし、その他のインターロックについては要目表の対象としていない。加工施設においては、事業変更許可の本文（位置、構造及び設備）において示されるインターロックを施設として重要なものと位置付け、仕様表の対象とする。(表－1 ②参照)

○計測装置、インターロックの仕様表の記載項目は、原則、発電炉の要目表の記載を踏襲する。なお、記載においては以下を考慮する。

- ・発電炉では、「起動信号を発信させない条件」、「注記の作動回路の構成等の説明（2 out of 3 等）」について記載しているが、加工施設に安全保護系はなく、冗長化の要求がない（インターロックが作動しなくとも電源を切れば安全確保可能）ため、記載しない。(表－1 ③参照)
- ・「検出器の種類」は、発電炉と同様に同じ検出器を示す場合でも計測装置は測定原理がわかる記載とし、インターロックは、信号を発する検出器がわかる記載とする。(表－1 ④参照)
- ・インターロックの動作内容については、インターロックの仕様表に注記で示す。(表－1 ⑤参照)

### (2) 基本設計方針、設備・機器、計測装置、インターロックの関連性

○インターロックについては、事業変更許可で設備・機器の機能として記載されていることを踏まえ、設備・機器の仕様表の注記に関連するインターロックを記載するとともに、**インターロックの仕様表に関連する設備・機器名称、検出器の種類を記載することで、それぞれの関連性を明確化する。**(表－2 ①参照)

### (3) 発電炉を踏まえた他設備でも使用する検出器の示し方

○発電炉では複数の工学的安全施設等の起動信号の仕様表で、同一の計測装置（検出器）を使用する場合は、注記に「○○として使用する検出器と同じである」を付記し、関連付けを行っている。(工学的安全施設等の起動信号の仕様表が複数ある場

合でも、計測装置（検出器）の仕様表はひとつとし、起動信号の仕様表の注記に関連付けの説明を記載している。）

- 濃縮でも同様にインターロックの仕様表に注記を付記し、関連付けを行う。地震計の場合、最初に示されるカスケード設備の計測装置として検出器を記載し、以降の設備はそれを呼び込む形とする。（表－3 ①参照）



表-1 発電炉を踏まえた加工施設における計測装置とインターロックの示し方

		濃縮				発電炉																																																																																																											
計器	d. 計装設備					(4) 原子炉格納容器本体内の圧力、温度、酸素ガス濃度又は水素ガス濃度を計測する装置の名称、検出器の種類、計測範囲、個数及び取付箇所(常設及び可搬型の別に記載すること。)																																																																																																											
	(a) 計測装置	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2">原料シリンダ出口圧力計*1</td> <td colspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td colspan="2">[ ] 検出器</td> <td colspan="2">弾性圧力検出器</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>hPa</td> <td colspan="2">0 ~ 1333</td> <td colspan="2">0 ~ 500 kPa[abs]</td> </tr> <tr> <td>警報動作範囲</td> <td>—</td> <td colspan="2">—</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>台</td> <td colspan="2">7</td> <td colspan="2">2*4, *5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td colspan="2">原料シリンダ出口圧力</td> <td colspan="2">ドライウエル圧力</td> </tr> <tr> <td>設置床(室名称)</td> <td colspan="2">2号発回均質室</td> <td colspan="2">[ ] EL. 20.30 m</td> </tr> </tbody> </table>						変更前		変更後		名称		原料シリンダ出口圧力計*1		変更なし		検出器の種類	—	[ ] 検出器		弾性圧力検出器		計測範囲	hPa	0 ~ 1333		0 ~ 500 kPa[abs]		警報動作範囲	—	—		—		個数	台	7		2*4, *5		取付箇所	系統名(ライン名)	原料シリンダ出口圧力		ドライウエル圧力		設置床(室名称)	2号発回均質室		[ ] EL. 20.30 m		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2">ドライウエル圧力*1</td> <td colspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td colspan="2">[ ] 弾性圧力検出器</td> <td colspan="2">弾性圧力検出器</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>—</td> <td colspan="2">0 ~ 20 kPa[gage]</td> <td colspan="2">0 ~ 500 kPa[abs]</td> </tr> <tr> <td>警報動作範囲</td> <td>—</td> <td colspan="2">—</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td colspan="2">12*2, *3</td> <td colspan="2">2*4, *5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名(ライン名)</td> <td colspan="2">—</td> <td colspan="2">ドライウエル圧力</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td colspan="2">—</td> <td colspan="2">[ ] EL. 20.30 m</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td colspan="2">—</td> <td colspan="2">RB-3-1*2, RB-3-1*4, RB-3-2*3, RB-3-2*5</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td colspan="2">—</td> <td colspan="2">EL. 20.30 m以上, EL. 29.00 m以上</td> </tr> </tbody> </table>						変更前		変更後		名称		ドライウエル圧力*1		変更なし		検出器の種類	—	[ ] 弾性圧力検出器		弾性圧力検出器		計測範囲	—	0 ~ 20 kPa[gage]		0 ~ 500 kPa[abs]		警報動作範囲	—	—		—		個数	—	12*2, *3		2*4, *5		取付箇所	系統名(ライン名)	—		ドライウエル圧力		設置床	—		[ ] EL. 20.30 m		取付箇所	溢水防護上の区画番号	—		RB-3-1*2, RB-3-1*4, RB-3-2*3, RB-3-2*5		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—		EL. 20.30 m以上, EL. 29.00 m以上
		変更前		変更後																																																																																																													
名称		原料シリンダ出口圧力計*1		変更なし																																																																																																													
検出器の種類	—	[ ] 検出器		弾性圧力検出器																																																																																																													
計測範囲	hPa	0 ~ 1333		0 ~ 500 kPa[abs]																																																																																																													
警報動作範囲	—	—		—																																																																																																													
個数	台	7		2*4, *5																																																																																																													
取付箇所	系統名(ライン名)	原料シリンダ出口圧力		ドライウエル圧力																																																																																																													
	設置床(室名称)	2号発回均質室		[ ] EL. 20.30 m																																																																																																													
		変更前		変更後																																																																																																													
名称		ドライウエル圧力*1		変更なし																																																																																																													
検出器の種類	—	[ ] 弾性圧力検出器		弾性圧力検出器																																																																																																													
計測範囲	—	0 ~ 20 kPa[gage]		0 ~ 500 kPa[abs]																																																																																																													
警報動作範囲	—	—		—																																																																																																													
個数	—	12*2, *3		2*4, *5																																																																																																													
取付箇所	系統名(ライン名)	—		ドライウエル圧力																																																																																																													
	設置床	—		[ ] EL. 20.30 m																																																																																																													
取付箇所	溢水防護上の区画番号	—		RB-3-1*2, RB-3-1*4, RB-3-2*3, RB-3-2*5																																																																																																													
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—		EL. 20.30 m以上, EL. 29.00 m以上																																																																																																													
注記 *1: 既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。						注記 *1: 既設工認に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *2: 対象計器は、PT-B22-N067B, PT-B22-N067D, PT-B22-N094A, PT-B22-N094C, PT-C72-N050C, PT-C72-N050D。 *3: 対象計器は、PT-R22-N067A, PT-B22-N067C, PT-B22-N094B, PT-B22-N094D, PT-C72-N050A, PT-C72-N050B。 *4: 対象計器は、PT-26-79.51A。 *5: 対象計器は、PT-26-79.51B。 *6: 対象計器は、PT-26-79.60。																																																																																																											
<p>①インターロックの仕様表も作成 ○発電炉を参考にインターロックの仕様表も作成する。 ②事業変更許可本文のインターロックが作成対象 ○事業変更許可本文で示すインターロックは全て仕様表を作成する。今回申請のインターロックは全て対象となる。</p>						<p>④「検出器の種類」の書き分け ○発電炉と同様に計測装置(上表)は測定原理がわかる記載とし、工学的安全施設起動信号(下表)は、信号を発する検出器がわかる記載とする。</p>																																																																																																											
回路	(b) インターロック	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インターロックの種類</td> <td>検出器の種類</td> <td>個数</td> <td>取付箇所</td> <td>インターロックの種類</td> <td>検出器の種類</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック(2号発生槽)*1*2*3</td> <td rowspan="2">原料シリンダ出口圧力計</td> <td>1</td> <td>系統名(ライン名) 2号発回均質室</td> <td rowspan="2">960 hPa以下</td> <td rowspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>設置床(室名称) 2号発回均質室</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">発生槽内温度計</td> <td rowspan="2">—</td> <td>1</td> <td>系統名(ライン名) 2号発回均質室</td> <td rowspan="2">■℃以下</td> <td rowspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>設置床(室名称) 2号発回均質室</td> </tr> </tbody> </table>						変更前		変更後		インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの種類	検出器の種類	圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック(2号発生槽)*1*2*3	原料シリンダ出口圧力計	1	系統名(ライン名) 2号発回均質室	960 hPa以下	変更なし	1	設置床(室名称) 2号発回均質室	発生槽内温度計	—	1	系統名(ライン名) 2号発回均質室	■℃以下	変更なし	1	設置床(室名称) 2号発回均質室	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工学的安全施設等の起動信号の種類</td> <td>検出器の種類</td> <td>個数</td> <td>取付箇所</td> <td>工学的安全施設等の起動信号の種類</td> <td>検出器の種類</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ドライウエル圧力高</td> <td rowspan="2">格納容器圧力検出器*4</td> <td>4</td> <td>系統名(ライン名) 設置床 EL. 20.30 m*2</td> <td>2*2</td> <td>13.7 kPa以下*5, *7</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>系統名(ライン名) 設置床 EL. 20.30 m*4</td> <td>2*2</td> <td>1245 cm以上(原子炉圧力容器零レベルより)*12</td> </tr> </tbody> </table>						変更前		変更後		工学的安全施設等の起動信号の種類	検出器の種類	個数	取付箇所	工学的安全施設等の起動信号の種類	検出器の種類	ドライウエル圧力高	格納容器圧力検出器*4	4	系統名(ライン名) 設置床 EL. 20.30 m*2	2*2	13.7 kPa以下*5, *7	4	系統名(ライン名) 設置床 EL. 20.30 m*4	2*2	1245 cm以上(原子炉圧力容器零レベルより)*12																																																						
			変更前		変更後																																																																																																												
インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの種類	検出器の種類																																																																																																												
圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック(2号発生槽)*1*2*3	原料シリンダ出口圧力計	1	系統名(ライン名) 2号発回均質室	960 hPa以下	変更なし																																																																																																												
		1	設置床(室名称) 2号発回均質室																																																																																																														
発生槽内温度計	—	1	系統名(ライン名) 2号発回均質室	■℃以下	変更なし																																																																																																												
		1	設置床(室名称) 2号発回均質室																																																																																																														
		変更前		変更後																																																																																																													
工学的安全施設等の起動信号の種類	検出器の種類	個数	取付箇所	工学的安全施設等の起動信号の種類	検出器の種類																																																																																																												
ドライウエル圧力高	格納容器圧力検出器*4	4	系統名(ライン名) 設置床 EL. 20.30 m*2	2*2	13.7 kPa以下*5, *7																																																																																																												
		4	系統名(ライン名) 設置床 EL. 20.30 m*4	2*2	1245 cm以上(原子炉圧力容器零レベルより)*12																																																																																																												
注記 *1: 既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *2: 本インターロックは、2号発生槽の加熱中に原料シリンダ内の圧力又は温度が異常に上昇した場合に、大気圧を超えない範囲又は管理温度を超えない範囲で、警報を発するとともに自動的に加熱用温水の供給を停止する。 *3: 本インターロックは2号発生槽ごとに設置する。2号発生槽は7基あるため、本インターロックは計7式設置する。						<p>⑤インターロックの動作内容 ○インターロックの動作内容を注記にて明確化。</p>																																																																																																											
						<p>③重要度による書き分け ○発電炉では、「起動信号を発信させない条件」、「注記の作動回路の構成等の説明(2 out of 3等)」について記載しているが、加工施設に安全保護系はなく、冗長化の要求がない(インターロックが作動しなくても電源を切れば安全確保可能)ため、記載しない。</p>																																																																																																											
						<p>7.4 高圧炉心スプレイ系 *15: 高圧炉心スプレイ系の作動回路は4個の検出器からなる並列の論理回路で構成され、最低2個の検出器が同時に動作すれば、高圧炉心スプレイ系起動となる。</p>																																																																																																											

表-2 基本設計方針、設備・機器、計測装置、インターロックの関連性

基本設計方針			仕様表									
8.3 警報設備 8.3.2 閉じ込めの機能 8.3.2.1 加熱に対する考慮 (1) UF <sub>6</sub> 処理設備 ・加熱中に原料シリンダ内の圧力又は温度が異常に上昇した場合は、大気圧を超えない範囲又は管理温度を超えない範囲で、警報を発するとともに自動的に加熱用温水の供給を停止する。 する <b>圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック</b> を設ける。					変更前		変更後					
			名称 <sup>*1</sup>	—	2号発生槽 <sup>*7*</sup>		変更なし					
種類 <sup>*2</sup>	—	温水加熱式(直接加熱)										
容量	—	— <sup>*9</sup>										
最高使用圧力 <sup>*3</sup>	hPa	上限: 960 下限: 0										
最高使用温度 <sup>*3</sup>	℃	100										
流体等の種類 <sup>*4</sup>	—	固体UF <sub>6</sub> , 気体UF <sub>6</sub>										
臨界管理	—	— <sup>*10</sup>										
主要寸法	カバー	たて	mm	■								
		横	mm	■								
		高さ	mm	■								
槽本体	たて	mm	■									
	横	mm	■									
	高さ	mm	■									
主要材料	カバー	—	■									
	槽本体	—	■									
個数 <sup>*5</sup>	基	7										
取付箇所	系統名(ライン名)	—	発生・供給系 <sup>*11</sup>									
	設置床(室名称) <sup>*6</sup>	—	2号発回均質室									

名称		変更前		変更後	
検出器の種類	—	原料シリンダ出口圧力計*		検出器	
計測範囲	hPa	0 ~ 1333		—	
警報動作範囲	—	—		—	
個数	台	7		—	
取付箇所	系統名(ライン名)	—	原料シリンダ出口圧力		変更なし
	設置床(室名称)	—	2号発回均質室		

注記 \*1: 既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

変更前				変更後							
インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値
圧力異常高又は温度異常高による加熱停止のインターロック(2号発生槽) <sup>*1*</sup> <sup>*2*</sup> <sup>*3*</sup>	原料シリンダ出口圧力計	1	系統名(ライン名) — 設置床(室名称) 2号発回均質室	1	960 hPa 以下	—	—	—	—	—	—
	発生槽内温度計	1	系統名(ライン名) — 設置床(室名称) 2号発回均質室	—	■ ℃ 以下						

注記 \*1: 既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。  
 \*2: 本インターロックは、2号発生槽の加熱中に原料シリンダ内の圧力又は温度が異常に上昇した場合に、大気圧を超えない範囲又は管理温度を超えない範囲で、警報を発するとともに自動的に加熱用温水の供給を停止する。  
 \*3: 本インターロックは2号発生槽ごとに設置する。2号発生槽は7基あるため、本インターロックは計7式設置する。

①基本設計方針、仕様表の紐付け  
 ○規則、許可に基づき基本設計方針で設置するとして警報設備等について、仕様表(設備・機器、計測装置、インターロック)で詳細を展開。  
 ○設備・機器の注記に関連するインターロックを記載するとともにインターロックの仕様表に関連する設備・機器名称、検出器の種類を記載することで、仕様表間の紐付けを明確化する。

表-3 発電炉を踏まえた他設備でも使用する検出器の示し方

仕様表													
発電炉	7.5 低圧炉心スプレィ系 ・常設												
	変更前						変更後						
	工学的安全施設等の起動信号の種類*	検出器の種類	個数	取付箇所	工学的安全施設等の起動に要する信号の個数*	設定値	工学的安全施設等の起動信号を発信させない条件*	工学的安全施設等の起動信号の種類	検出器の種類	個数	取付箇所	工学的安全施設等の起動に要する信号の個数	設定値
ドライウエール圧力高	格納容器圧力検出器**	2	系統名(ライン名) - 設置床 EL.20.30 m**	2**	13.7 kPa 以下**	-	変更なし	変更なし	2	変更なし	変更なし	13.7 kPa 以下**	-
原子炉水位異常低下(レベル1)**	原子炉水位検出器**	2	系統名(ライン名) - 設置床 EL.20.30 m**	2**	960 cm 以上(原子炉圧力容器零レベルより)**	-	変更なし	変更なし	2	変更なし	変更なし	960 cm 以上(原子炉圧力容器零レベルより)**	-
注記 *1: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「安全保護系起動信号の種類」と記載。 *2: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「安全保護系起動に要する個数」と記載。 *3: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「安全保護系起動バイパス条件」と記載。 *4: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「圧力検出器」と記載。 *5: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *6: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「0.14 kg/cm <sup>2</sup> g」と記載。 *7: S I 単位に換算したもの。 *8: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉水位異常低下」と記載。 *9: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「差圧検出器」と記載。 *10: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「960 cm (原子炉圧力容器零レベルより)」と記載。 *11: 低圧炉心スプレィ系の作動回路は各検出器2個ずつの計4個の検出器からなる並列の論理回路で構成され、最低2個の検出器が同時に動作すれば、低圧炉心スプレィ系起動となる。 *12: 本検出器は、工学的安全施設等の起動信号のうち残留熱除去系及び自動減圧系の「ドライウエール圧力高」として使用する検出器と同じである。 *13: 本検出器は、工学的安全施設等の起動信号のうち残留熱除去系、自動減圧系及び過渡時自動減圧機能の「原子炉水位異常低下(レベル1)」として使用する検出器と同じである。													
濃縮	(b) インターロック												
	変更前						変更後						
インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値		
	①他設備でも使用する計測器の示し方 ○発電炉では複数の起動信号の仕様表に対し、同一の検出器を使用する場合は、検出器が同じである旨の注記を付記し、関連付けを行っている。 ○濃縮でも同様にインターロックの仕様表に注記を付記し、関連付けを行う。地震計の場合、最初に示されるカスケード設備の計測装置として検出器を記載し、以降の設備はそれを呼び込む形とする。	3** (水平)	2号UF6電源室	2** (水平)	250 Gal (水平)	地震発生時の加熱停止のインターロック**	地震計	3** (鉛直)	2号UF6電源室	2** (鉛直)	125 Gal (鉛直)		
		3** (水平)	2号UF6電源室	2** (水平)	250 Gal (水平)			3** (鉛直)	2号UF6電源室	2** (鉛直)	125 Gal (鉛直)		
注記 *1: 本検出器は、カスケード設備の地震発生時の排気のインターロックとして使用する検出器と同じである。 *2: 本インターロックは、第1類に求められる地震力を超えない程度の地震加速度(震度5強~6弱程度(第2類の地震力に相当する水平方向250 Gal または鉛直方向125 Gal))を検知して警報を発するとともに、自動的に2号発生槽の加熱を停止し、UF <sub>6</sub> を閉じ込める。 *3: 地震計は水平3台1組及び鉛直3台1組で、2系統設置する。検出器1組ごとに3個中2個の地震計が設定値に達した場合にインターロックの起動信号を発し、2号発生槽(7基)に対してインターロックが動作する。													
1.1 カスケード設備													
c. 計装設備													
(a) 計測装置													
名称			変更前			変更後			地震計				
検出器の種類			-			-			振子型地震検出器				
計測範囲			Gal			-			100~500**				
警報動作範囲			Gal			-			250 (水平) 125 (鉛直)				
個数			台			-			6 6				
取付箇所			-			-			2号UF <sub>6</sub> 電源室				
注記 *1: 加速度設定範囲を示す。 *2: 系統区別を必要としないため「-」とする。													